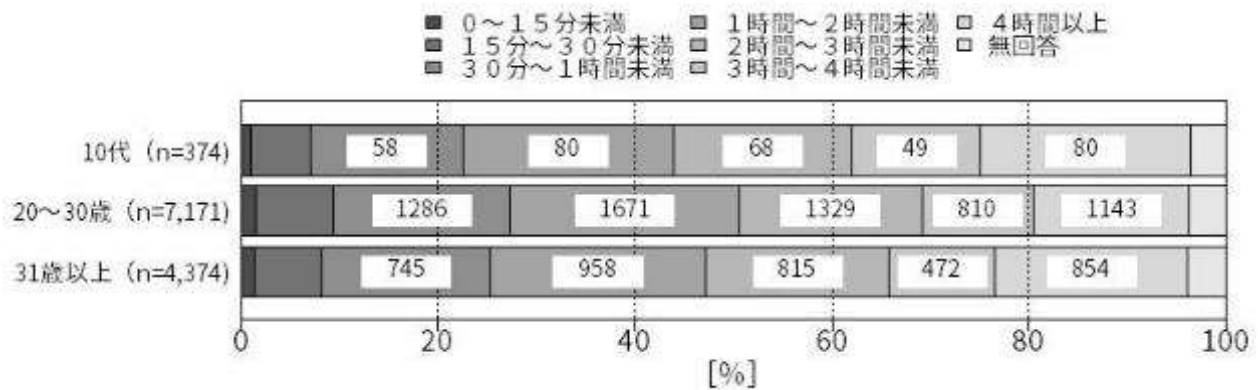


初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
（問 33×問 31-3-平日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

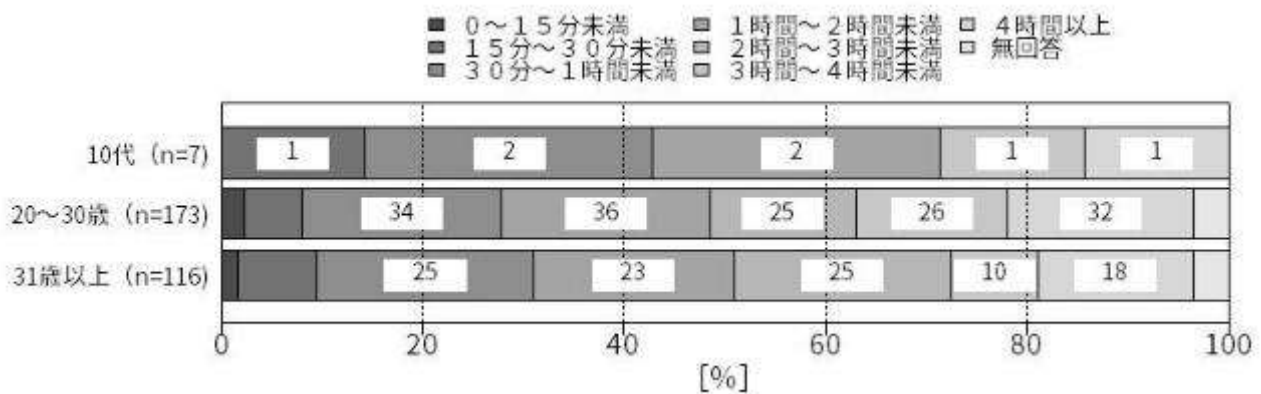
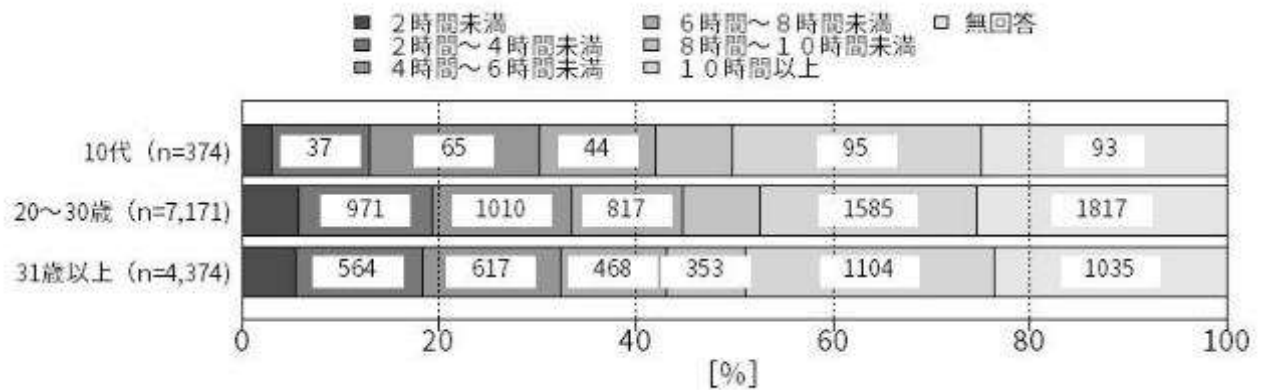


図 102. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）
 （問 33×問 31-3-休日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

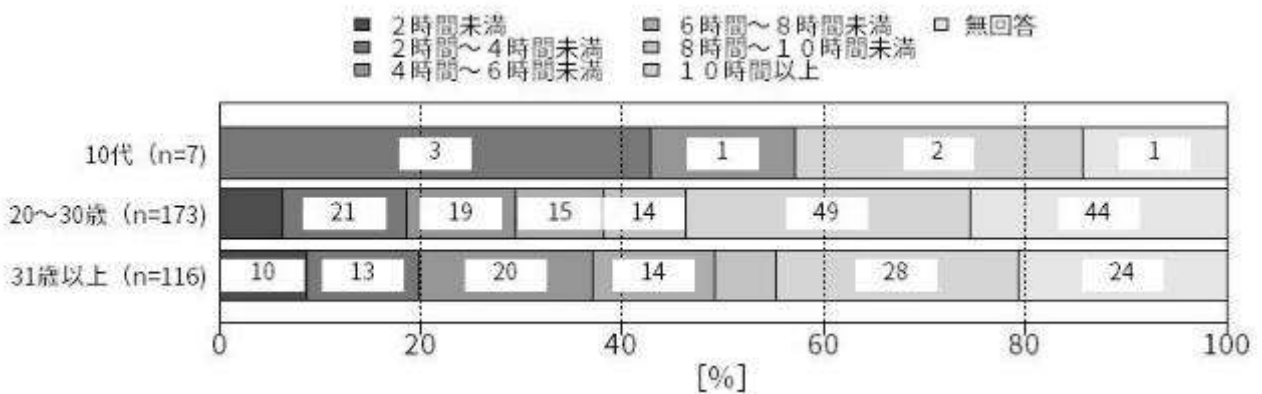
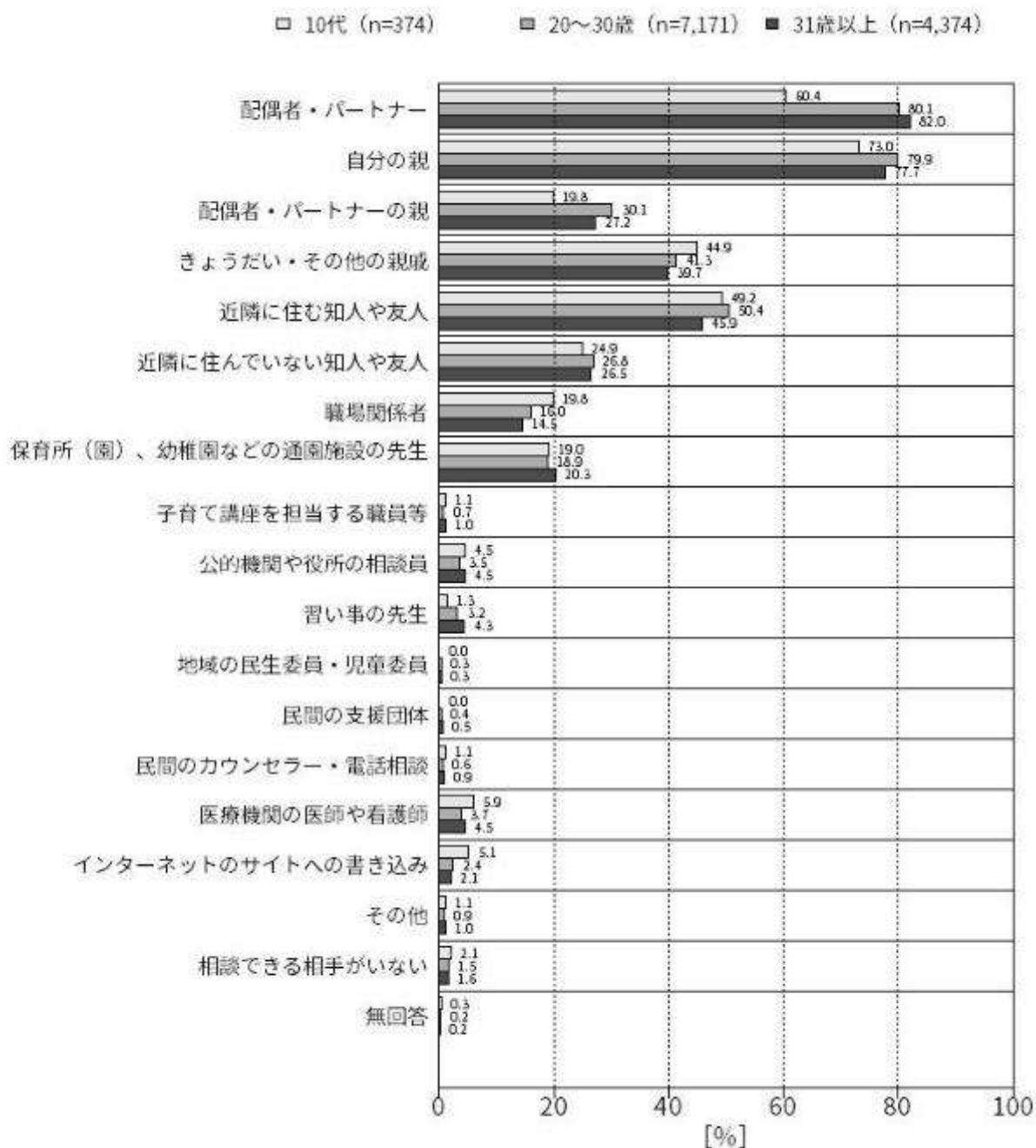


図 103. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）
 ※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、相談相手（問 33×問 35）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

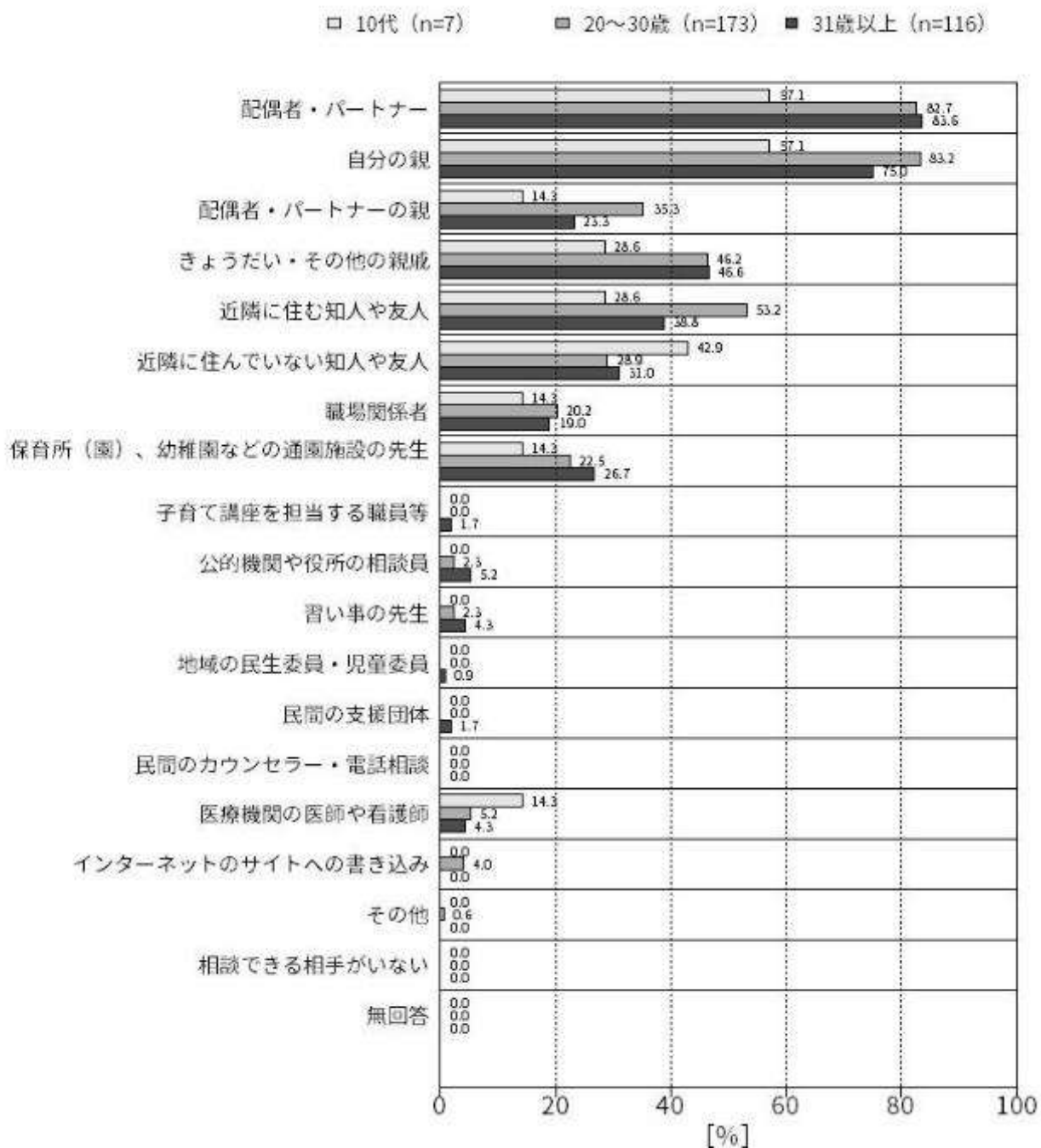


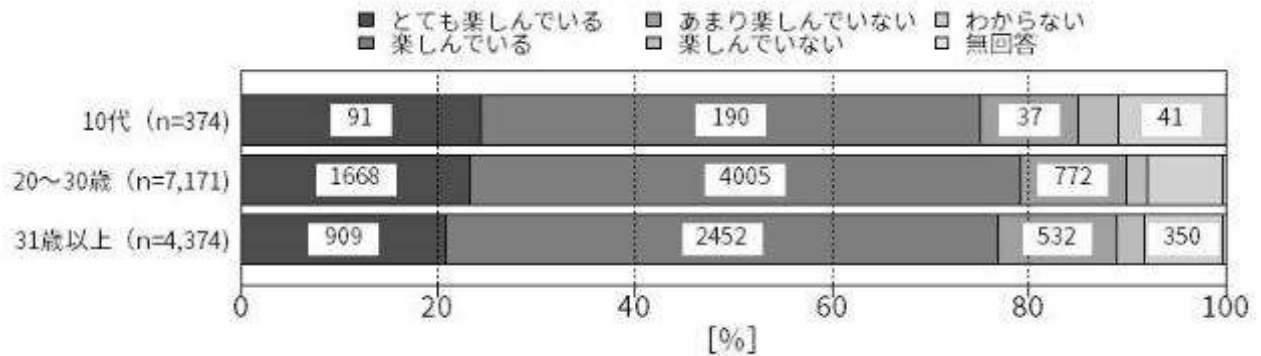
図 104. 初めて親となった年齢別に見た、相談相手

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 33×問 36-1）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

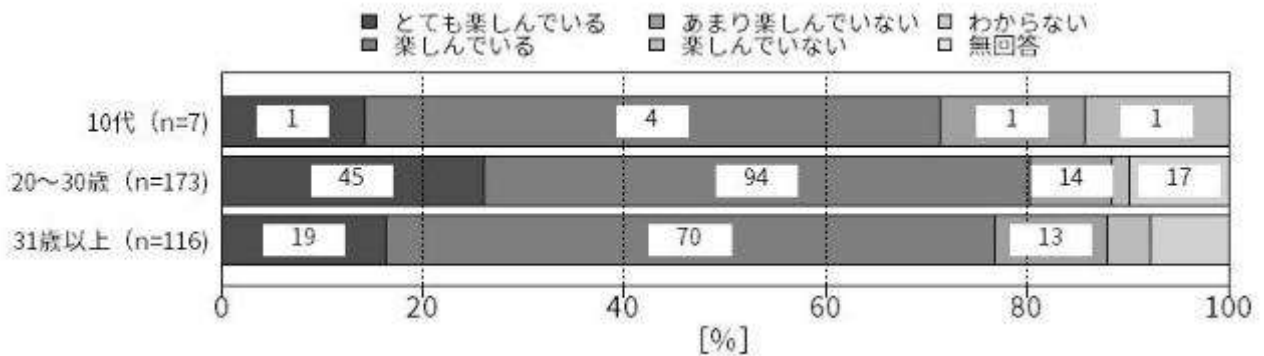


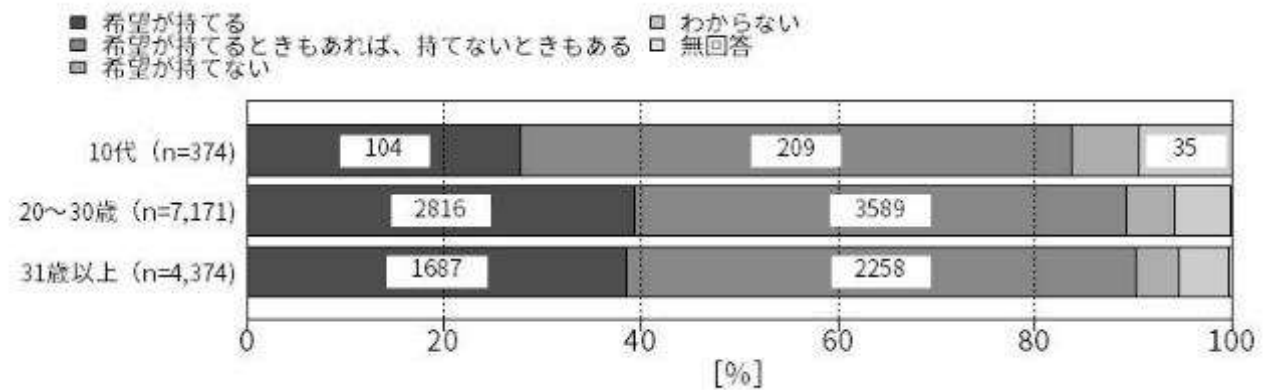
図 105. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 33×問 36-2）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

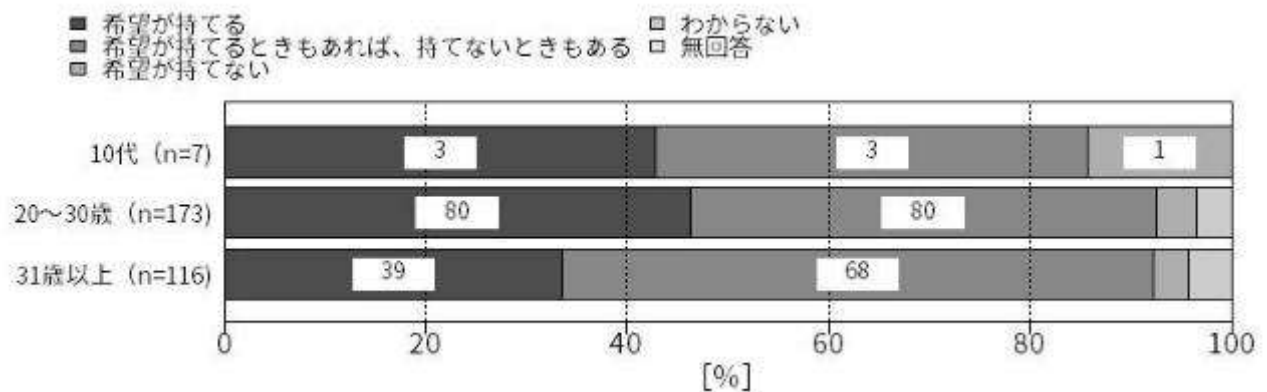


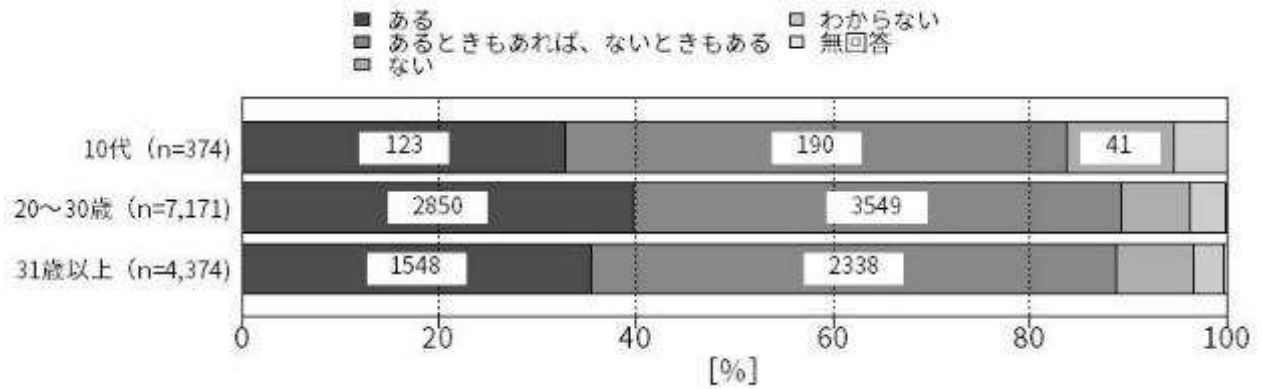
図 106. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望

※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
 （問 33×問 36-3）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

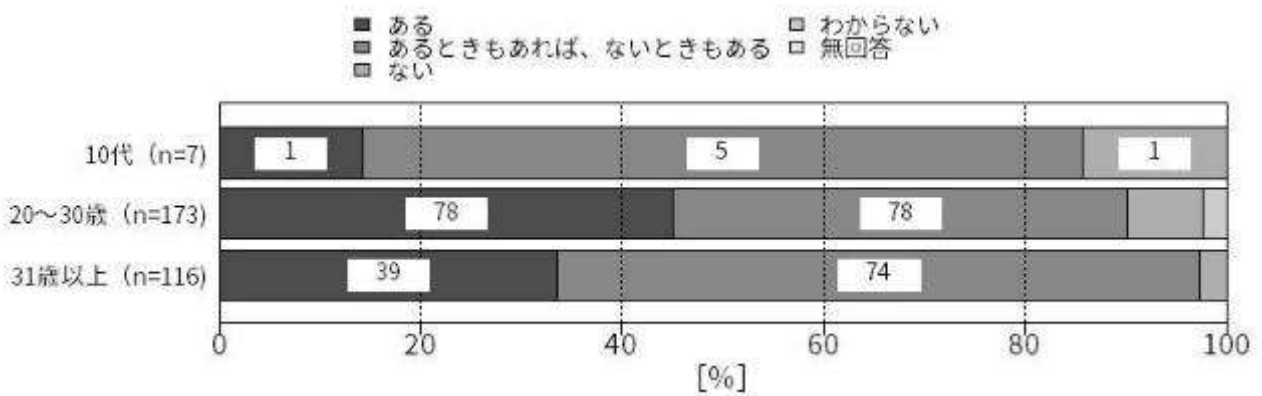


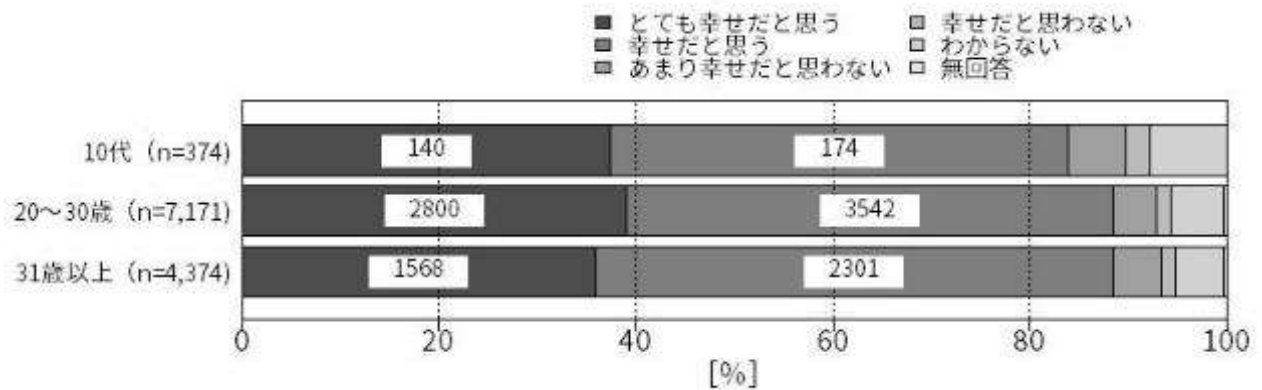
図 107. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 33×問 36-4）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

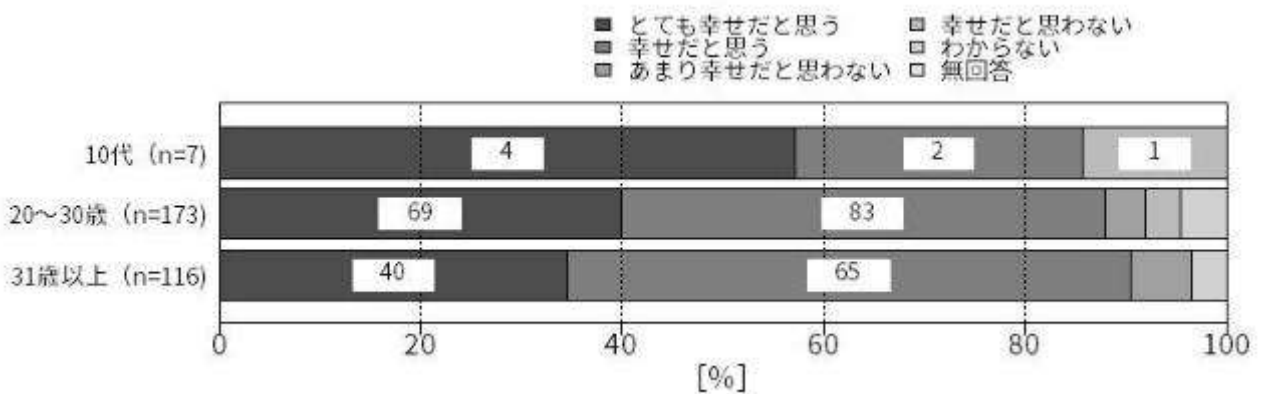


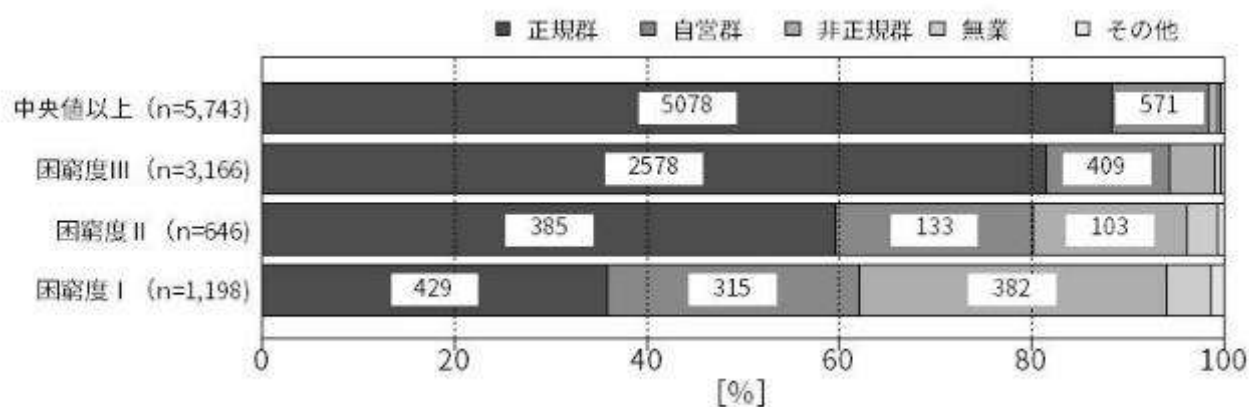
図 108. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う
※母親が回答者の場合に限定

10代で出産する人は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（問 8）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

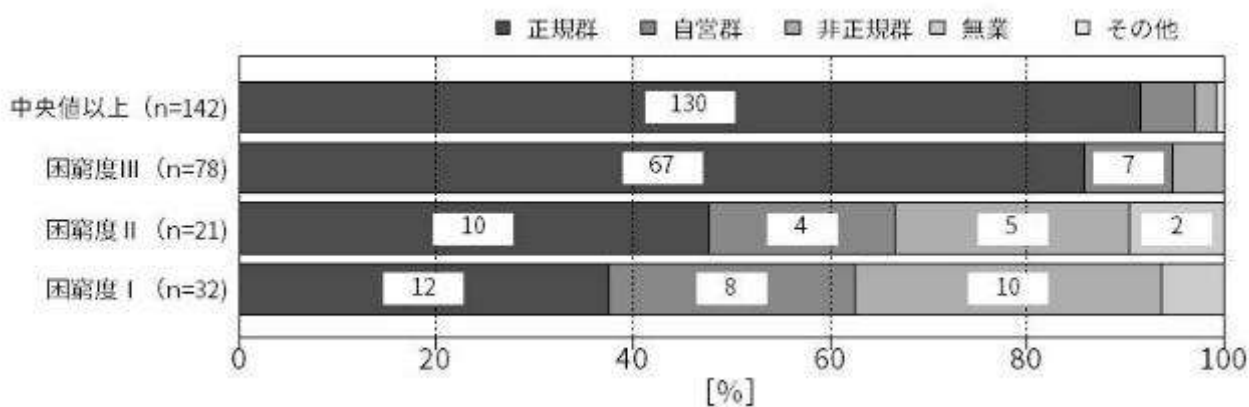
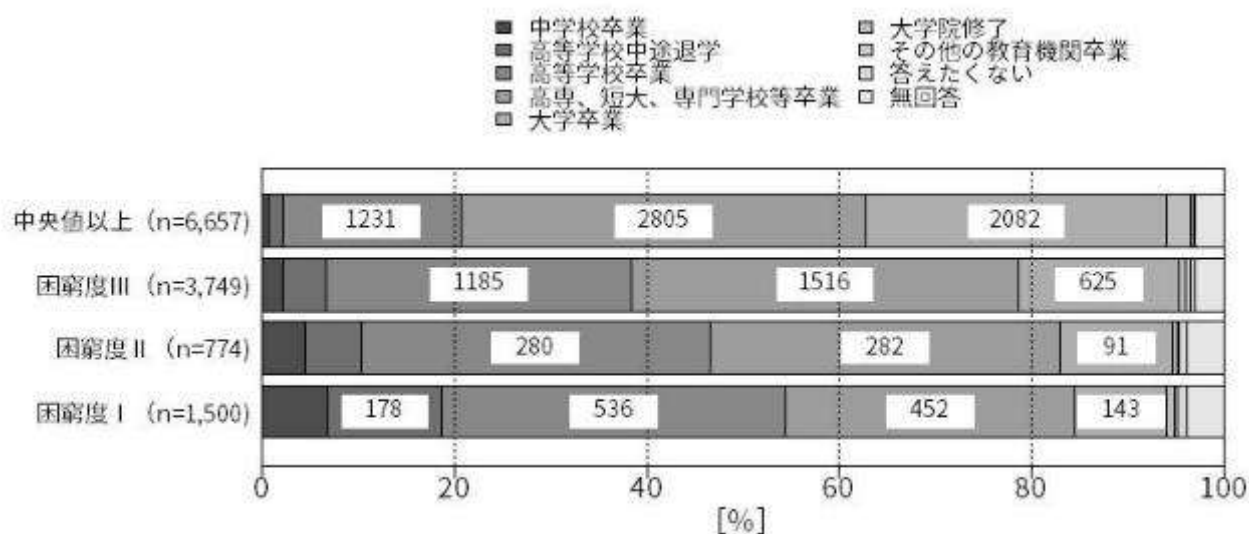


図 109. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては、自営群は 25.0%、非正規群は 31.3%であった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

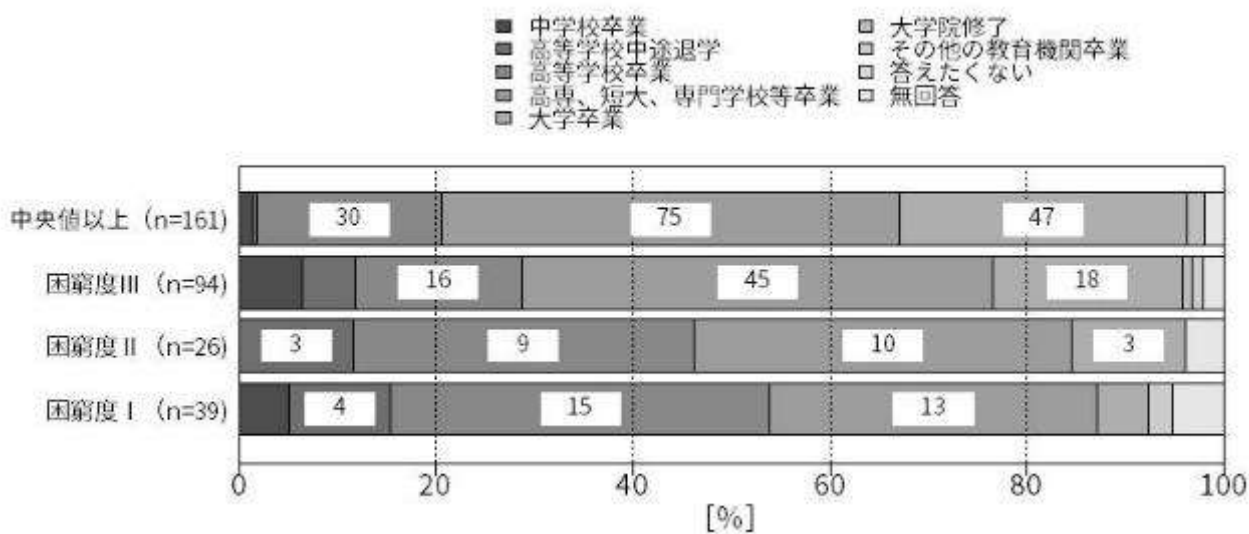
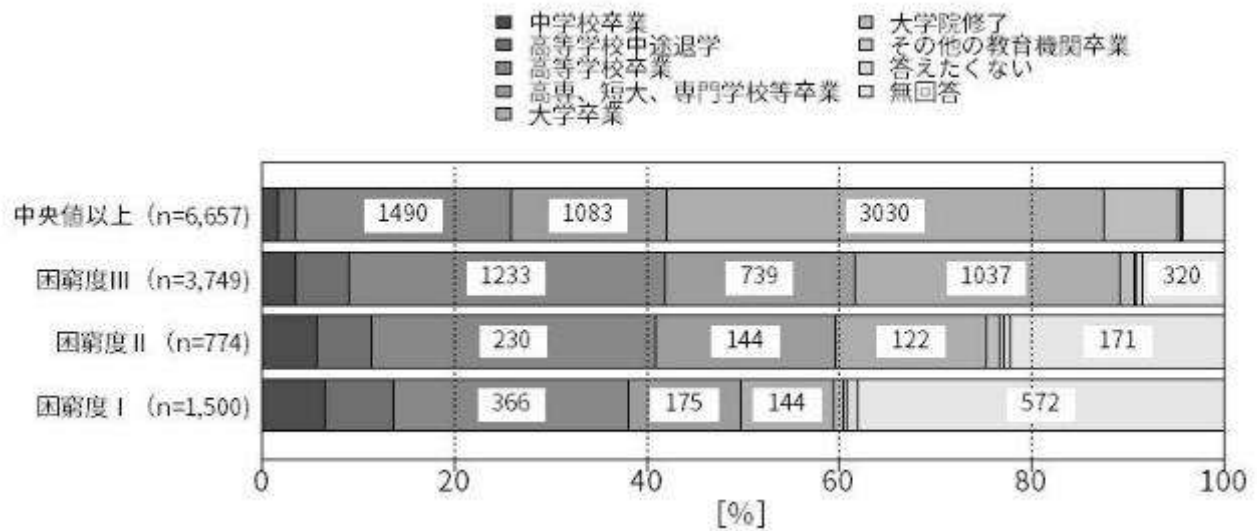


図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は 5.1%、「高等学校中途退学」は 10.3%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

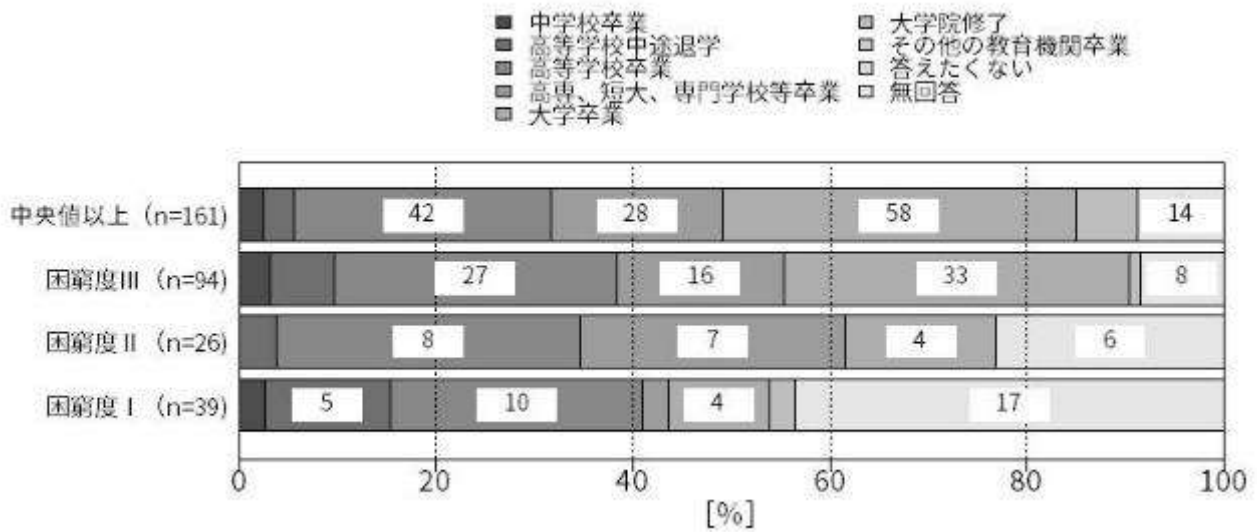
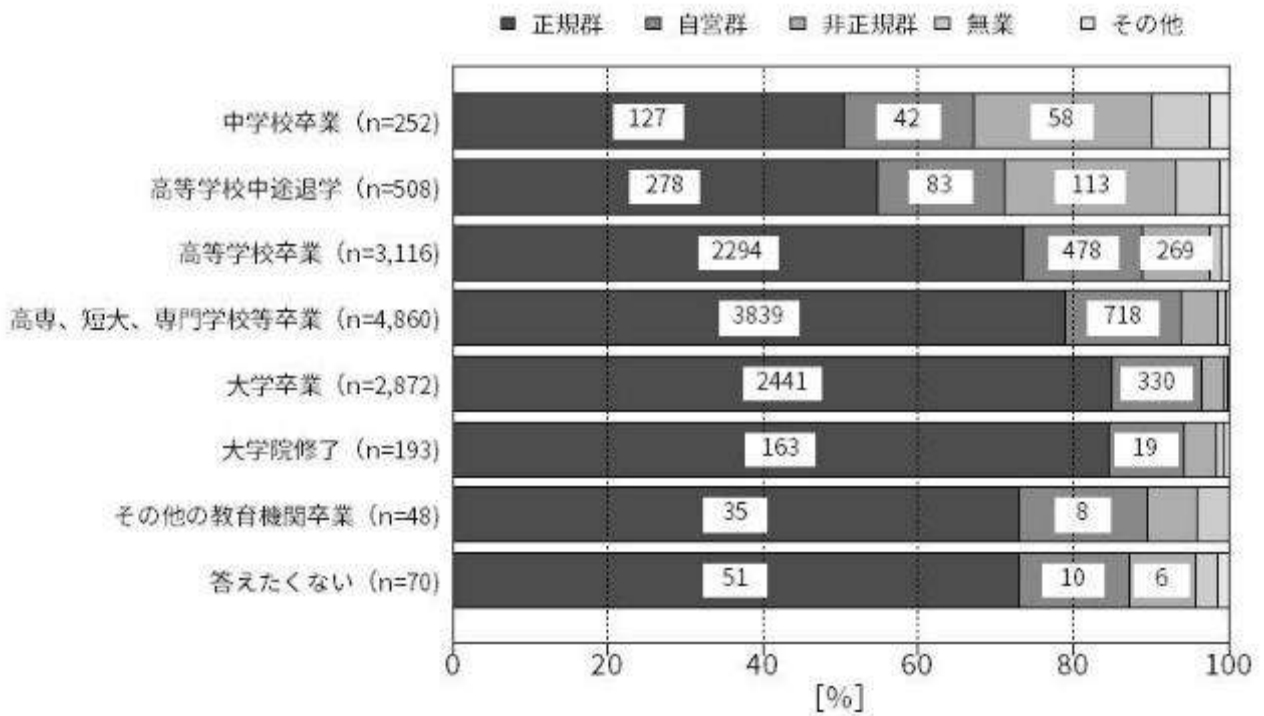


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は2.6%、「高等学校中途退学」は12.8%であった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問 7×問 8）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

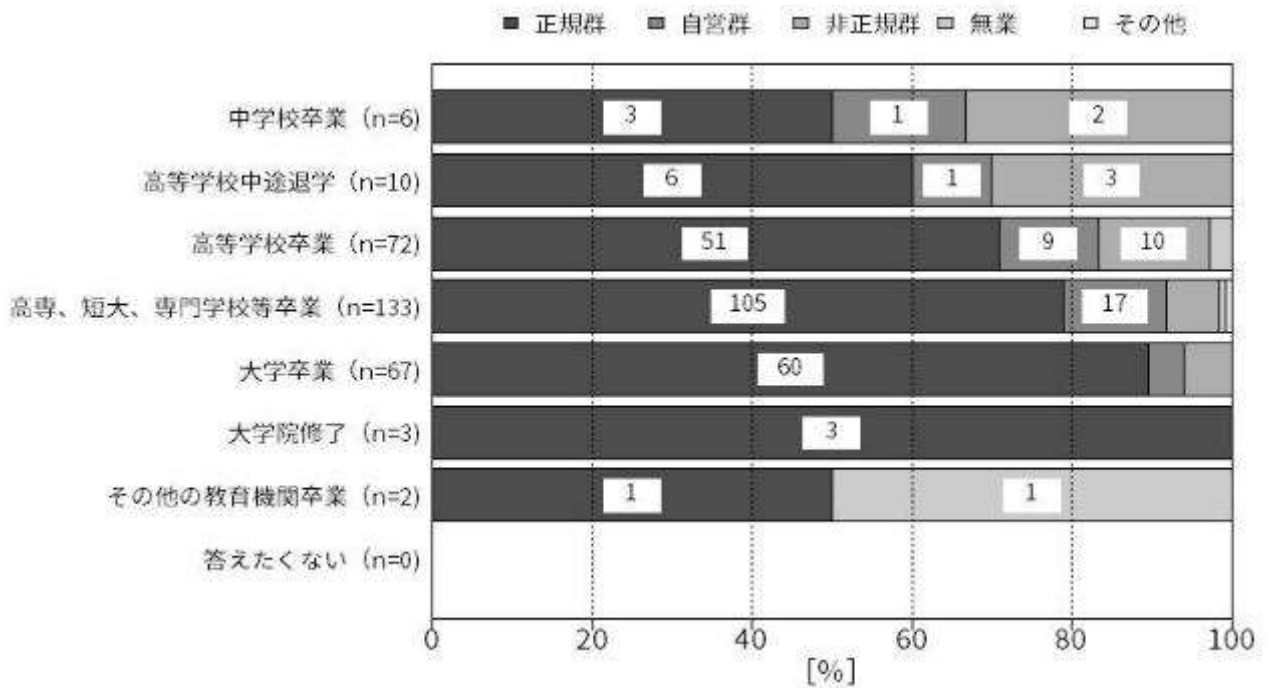
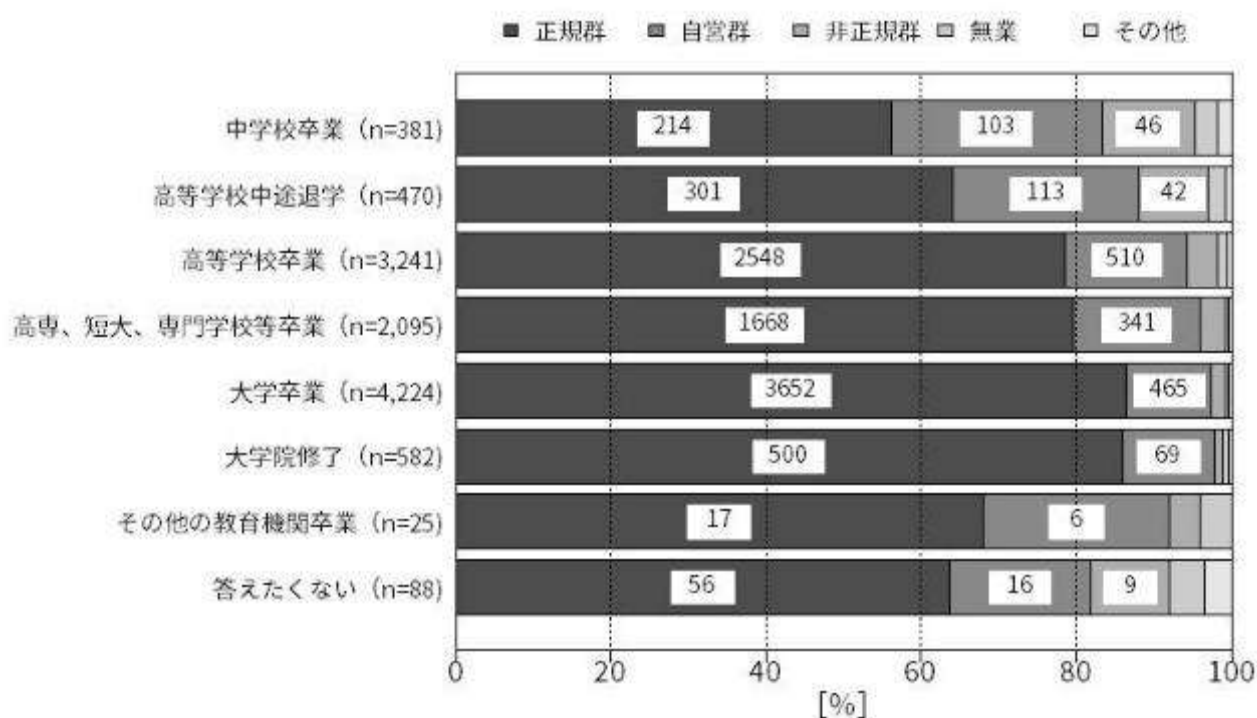


図 112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市東成区>

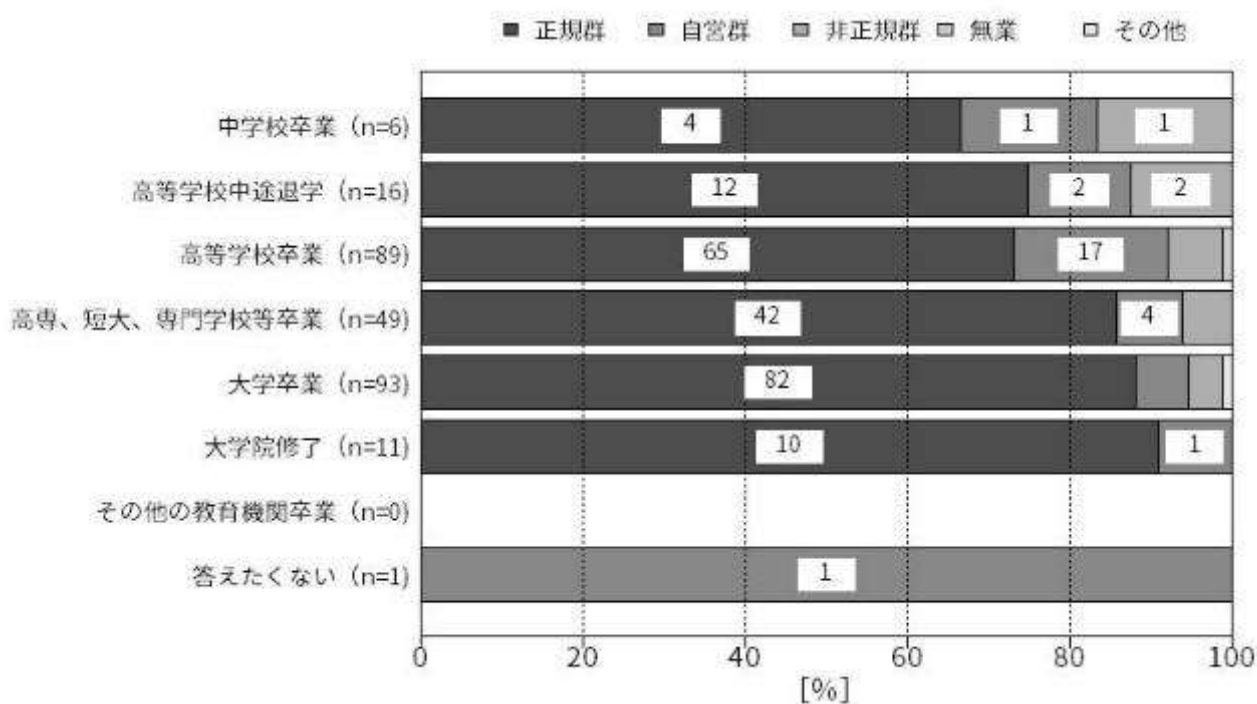
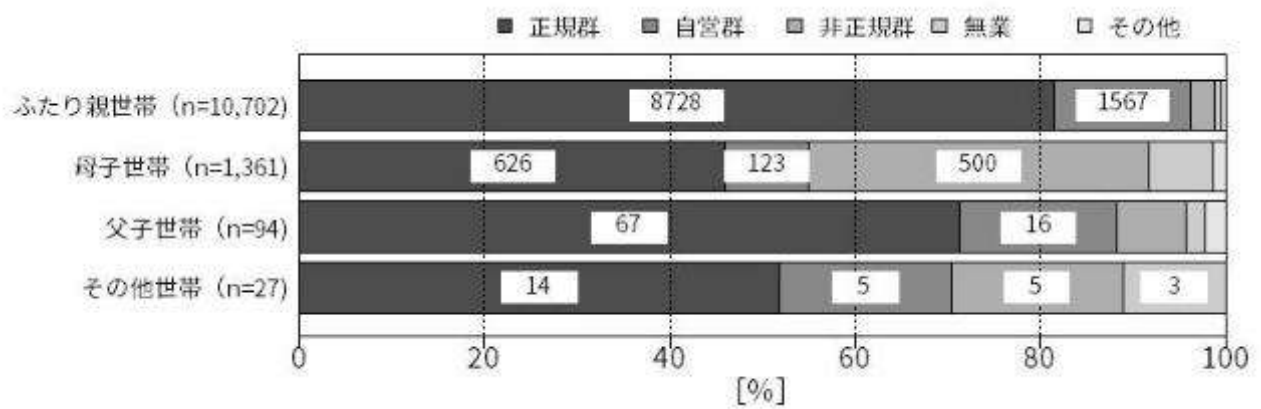


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

<大阪市24区>



<大阪市東成区>

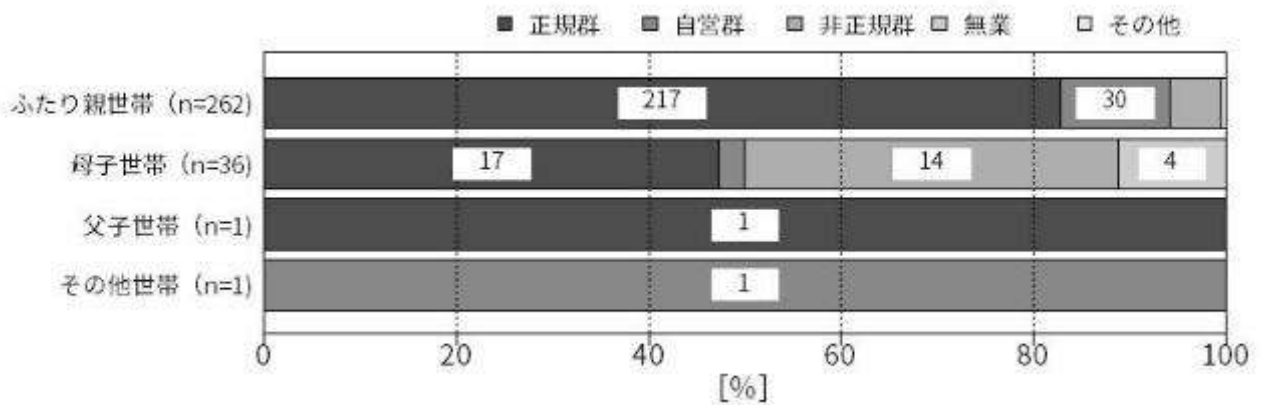
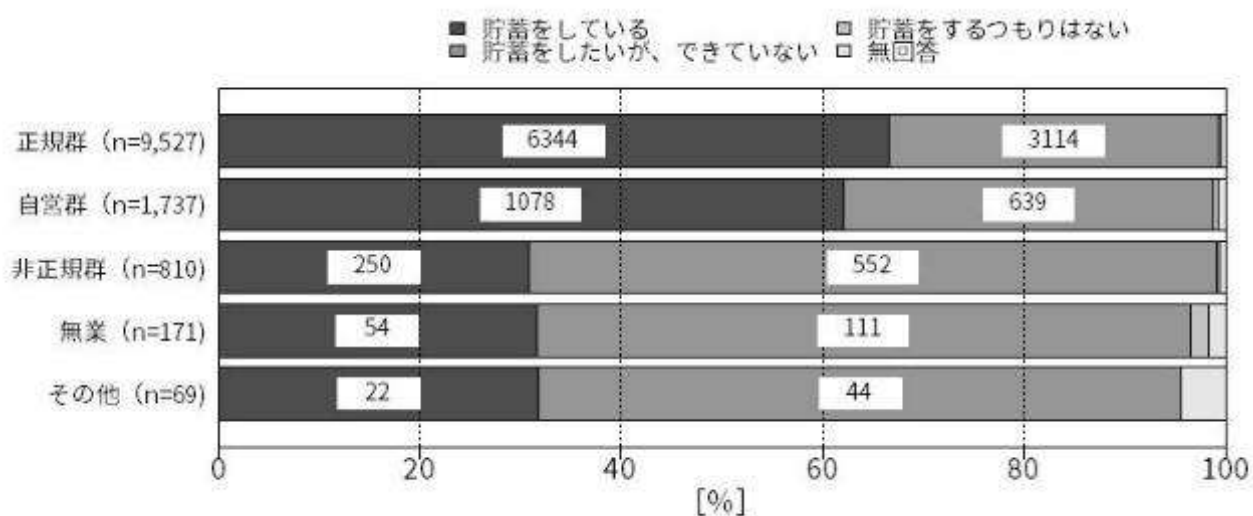


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯では正規群の割合が47.2%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問 8×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

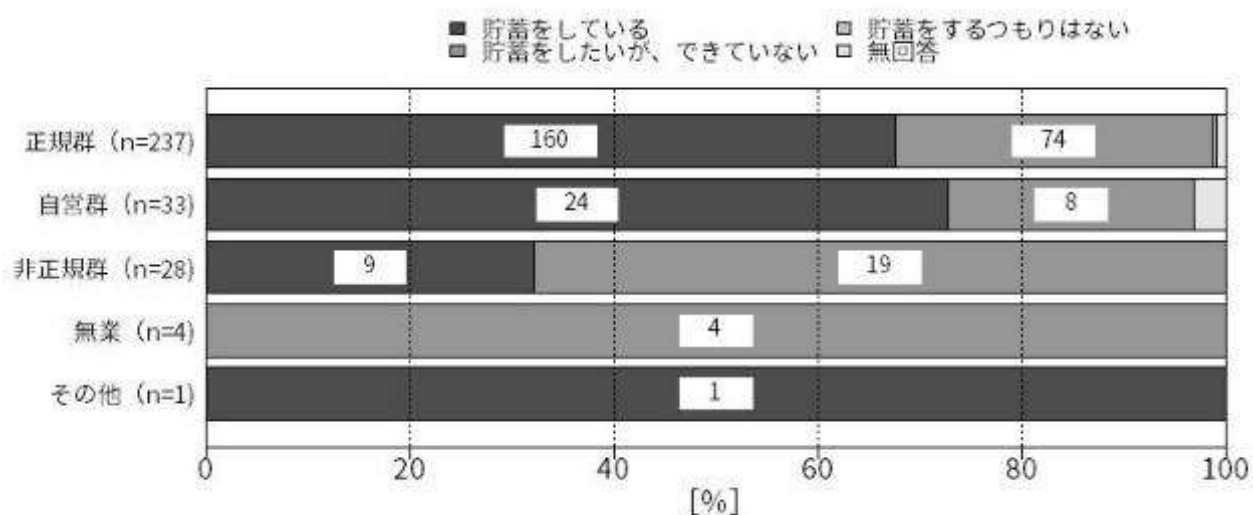
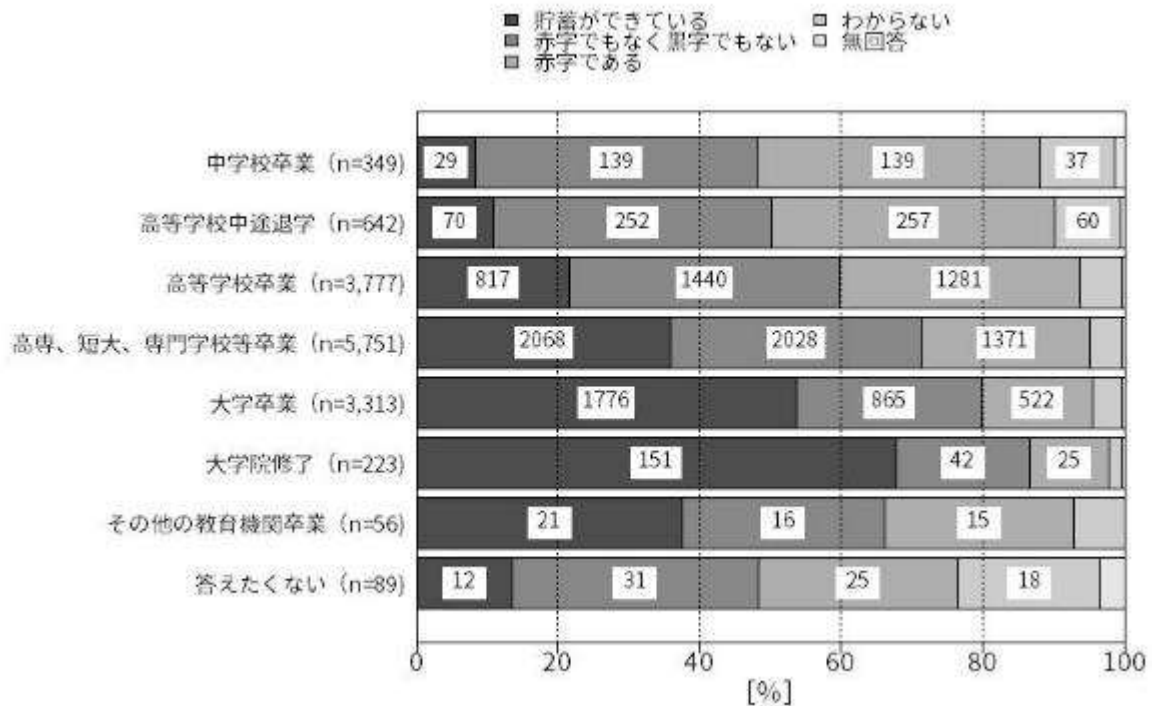


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、32.1%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市東成区>

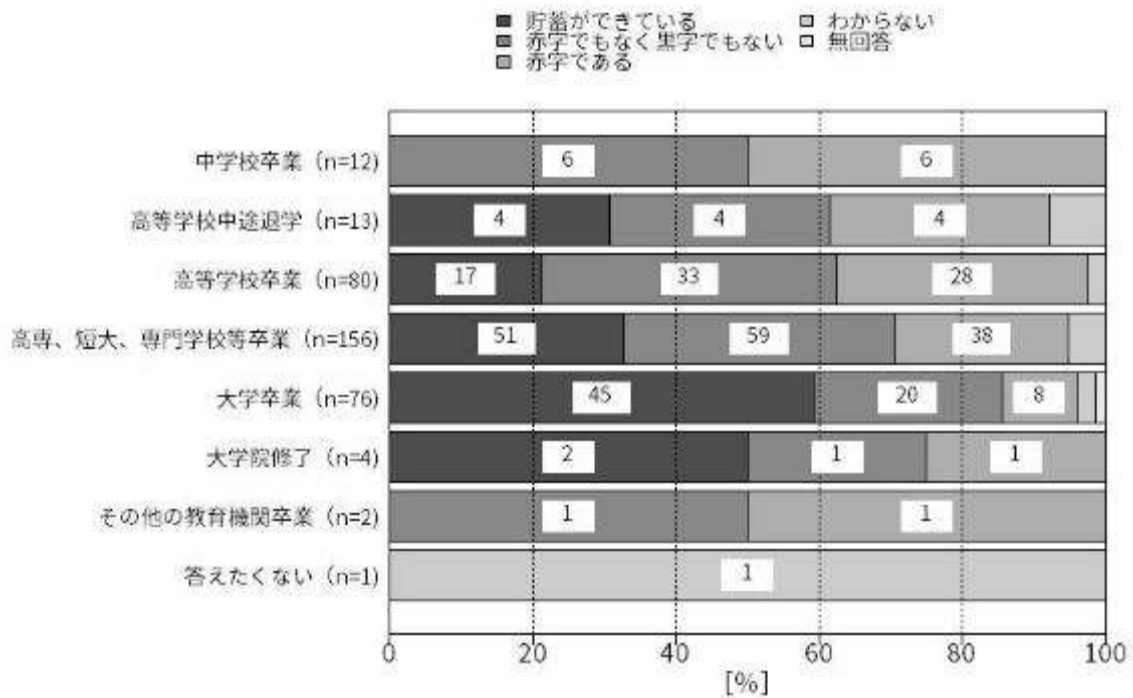
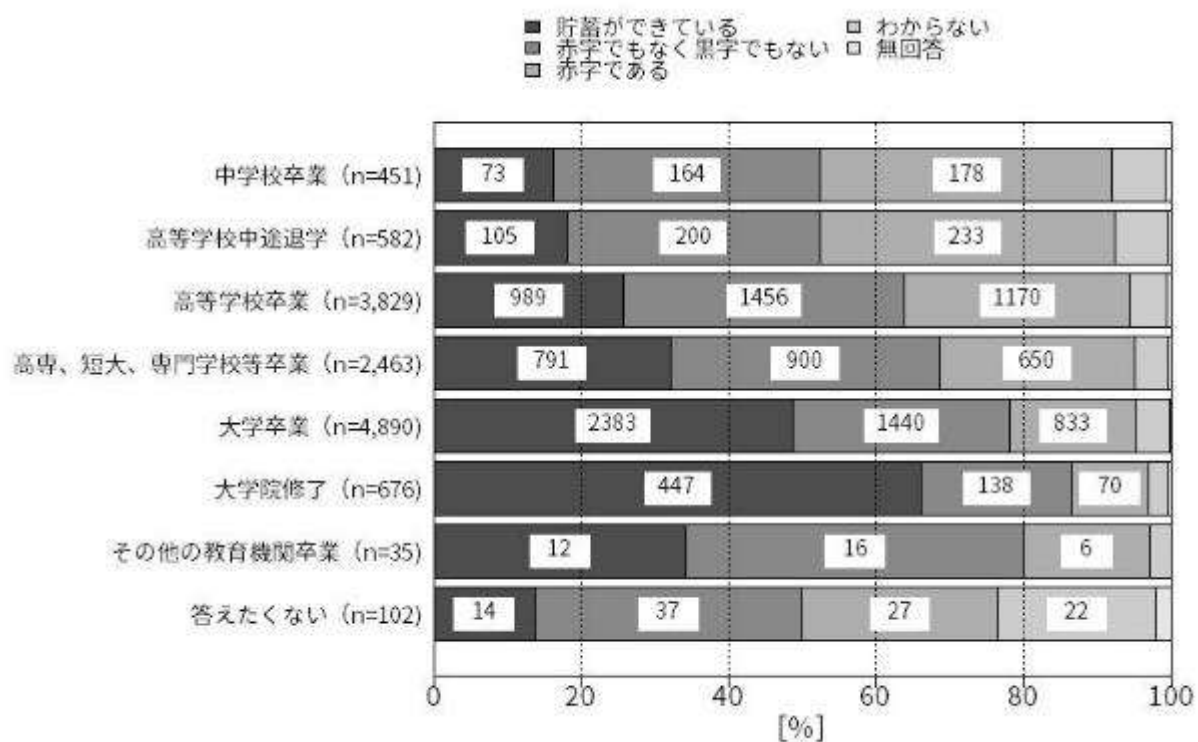


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市東成区>

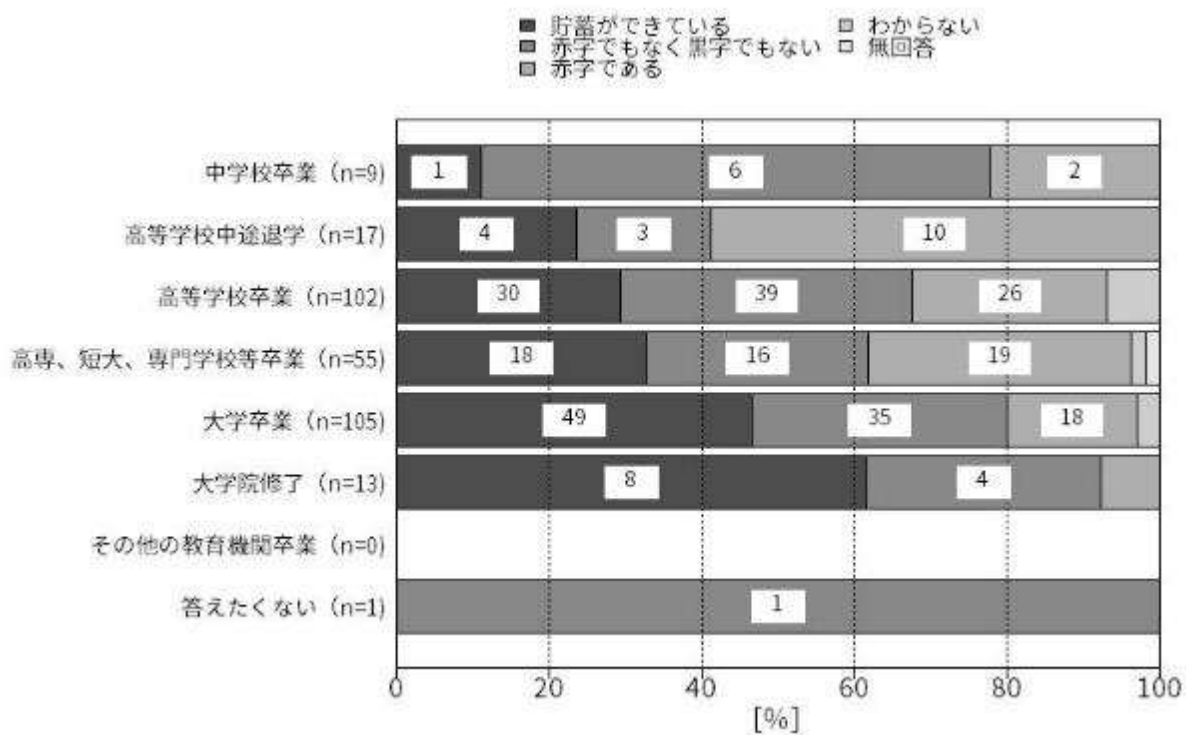
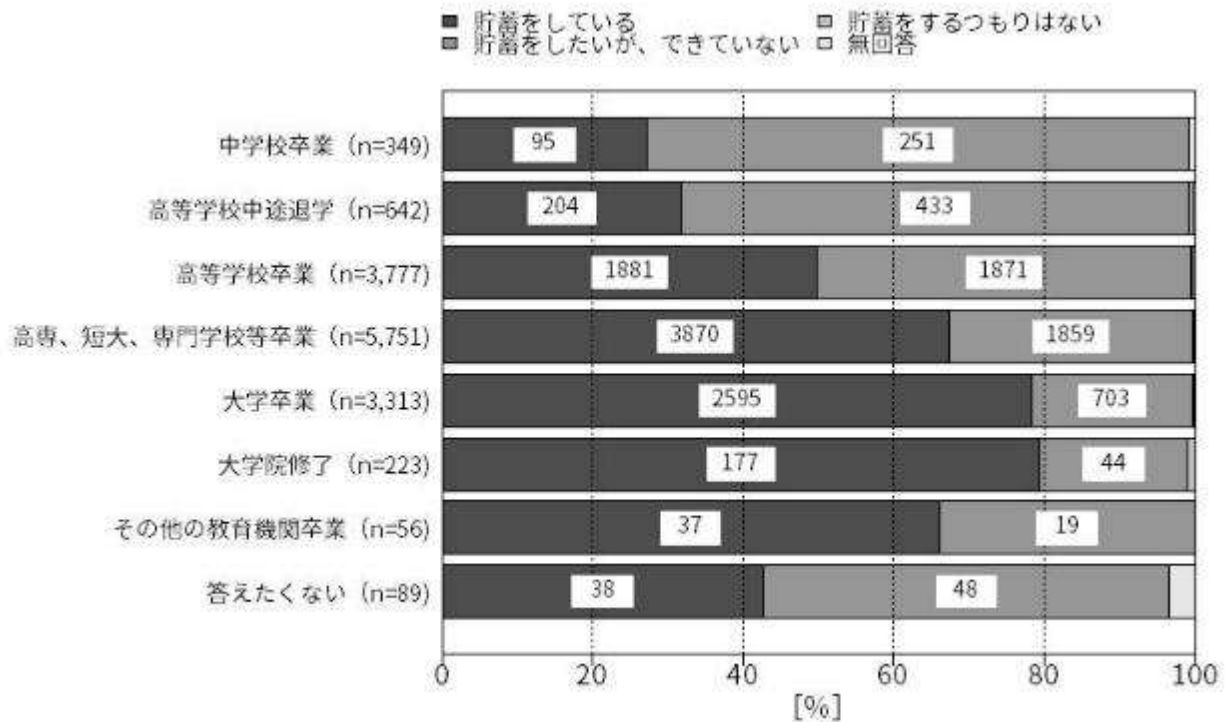


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

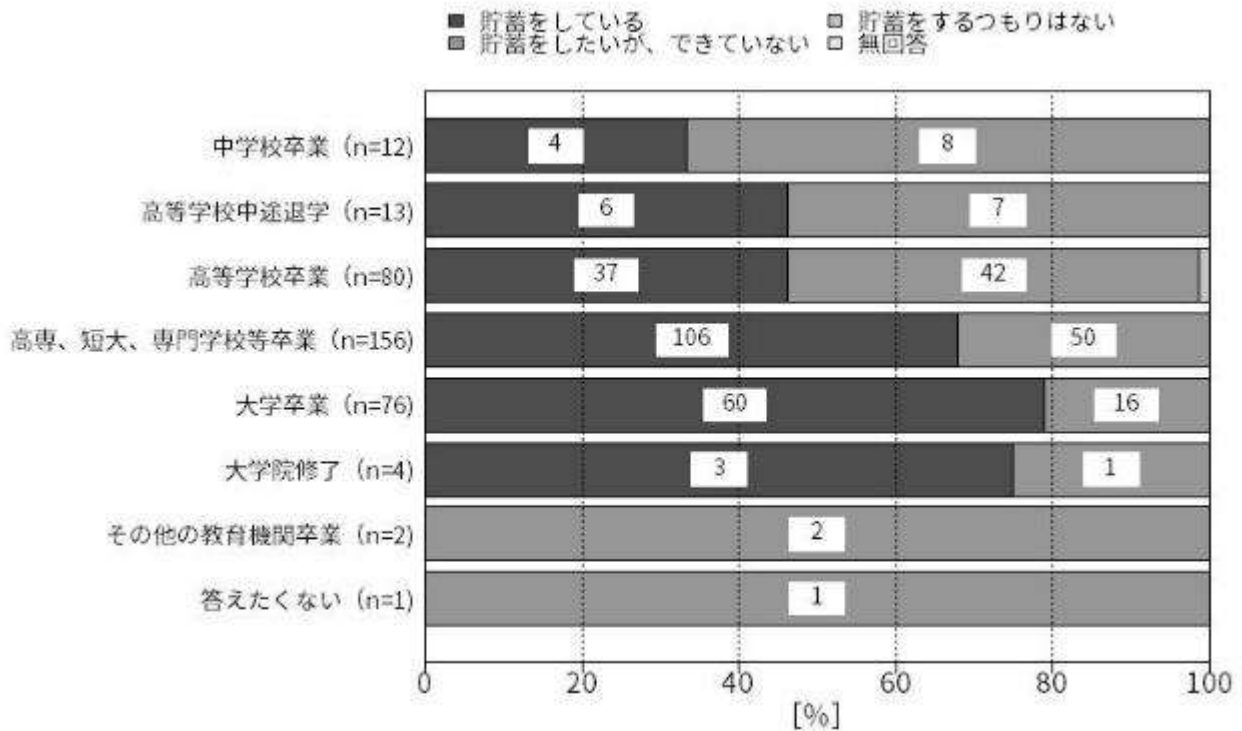
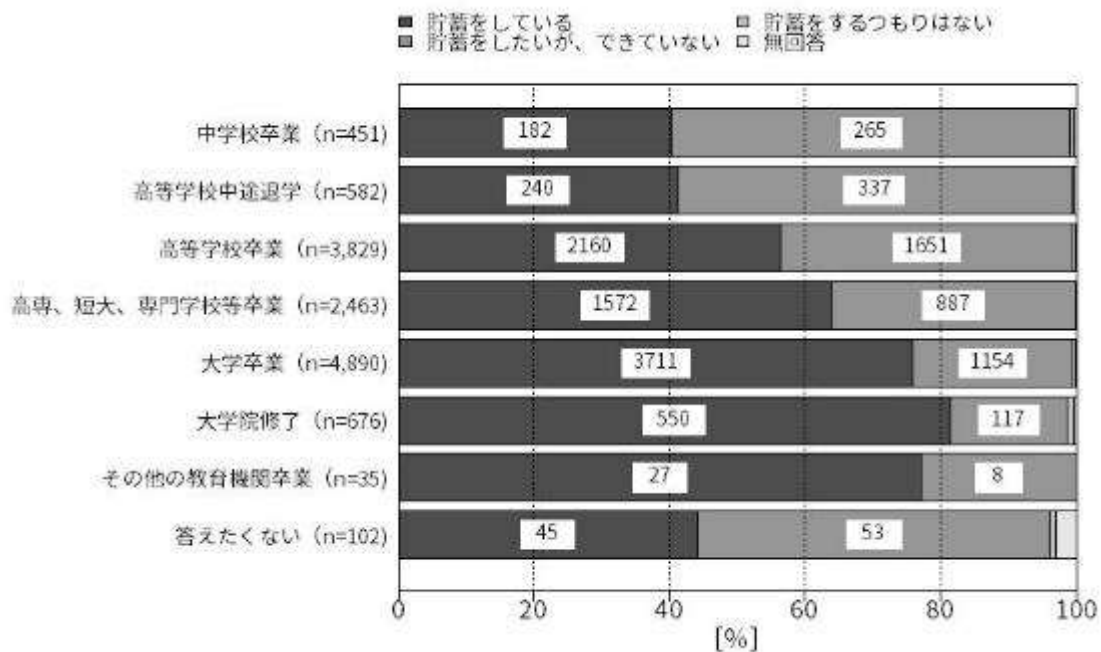


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

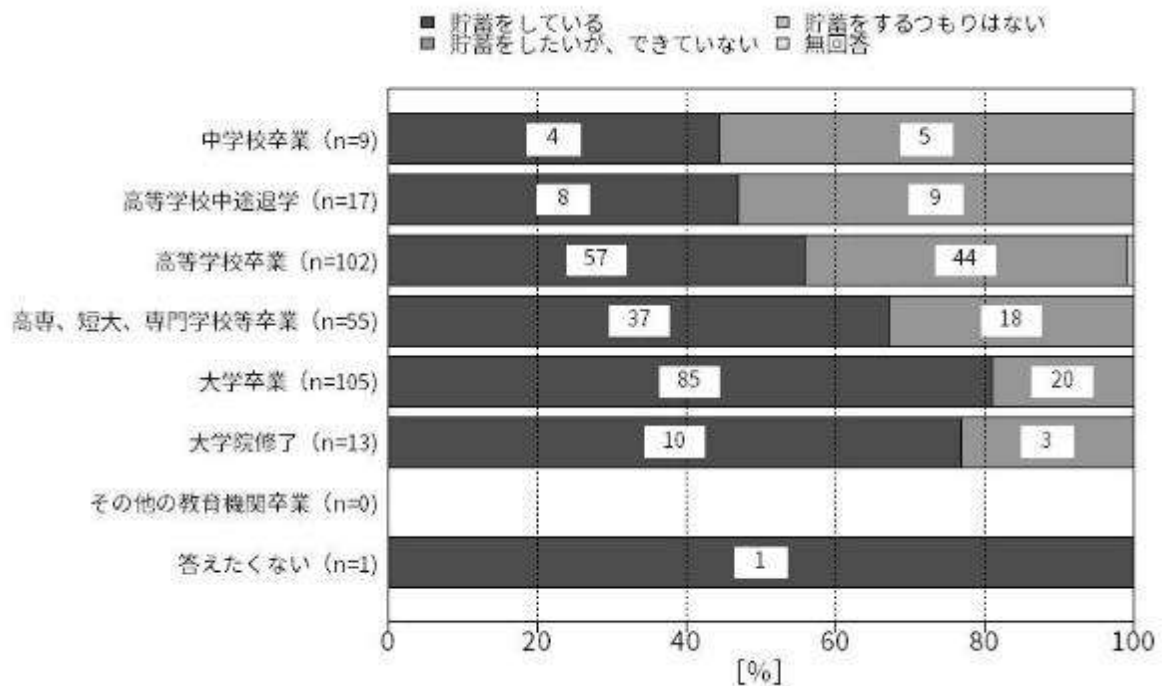


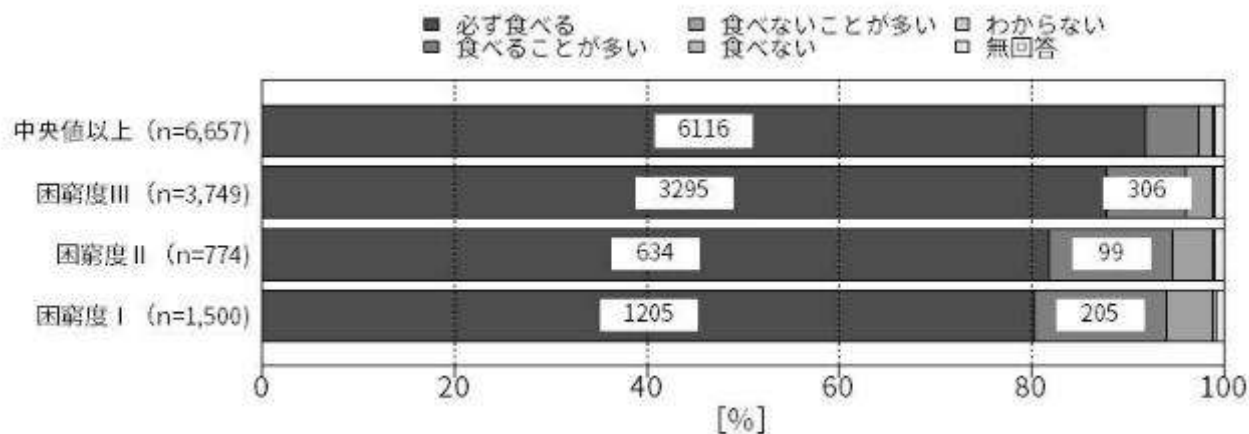
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

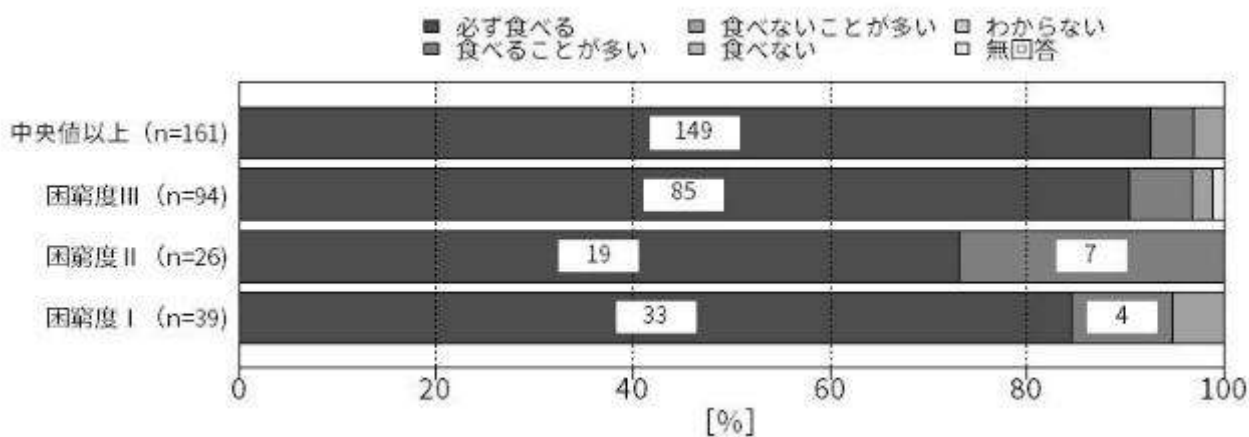
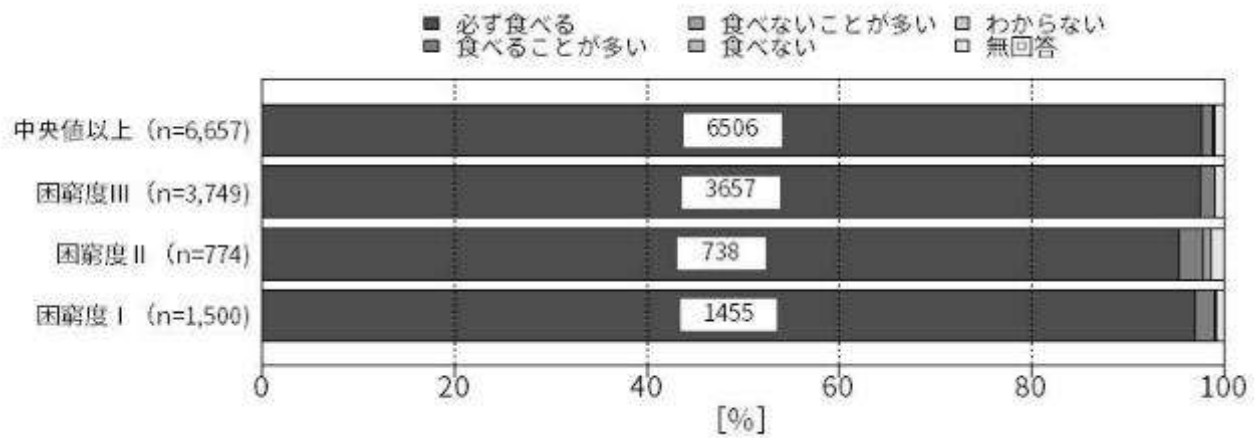


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 84.6%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

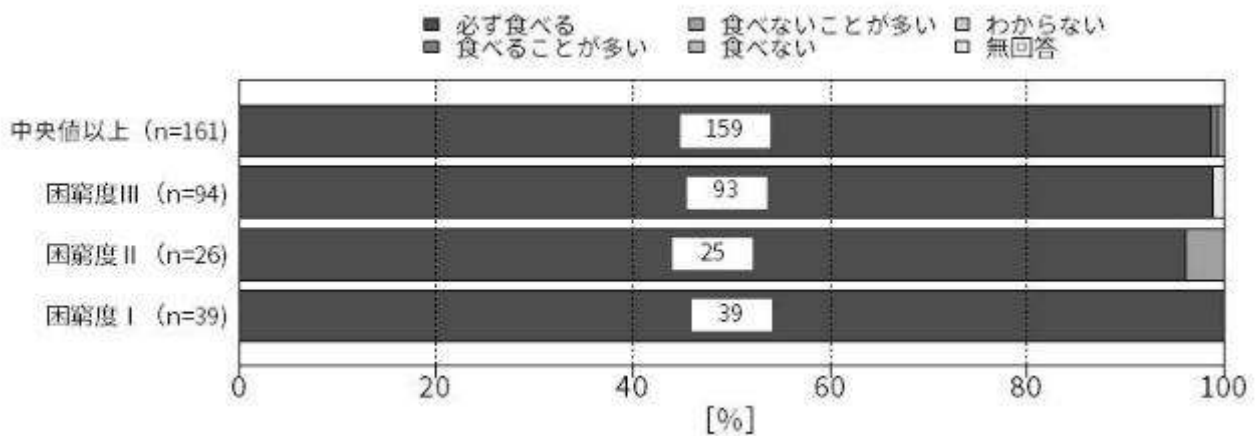
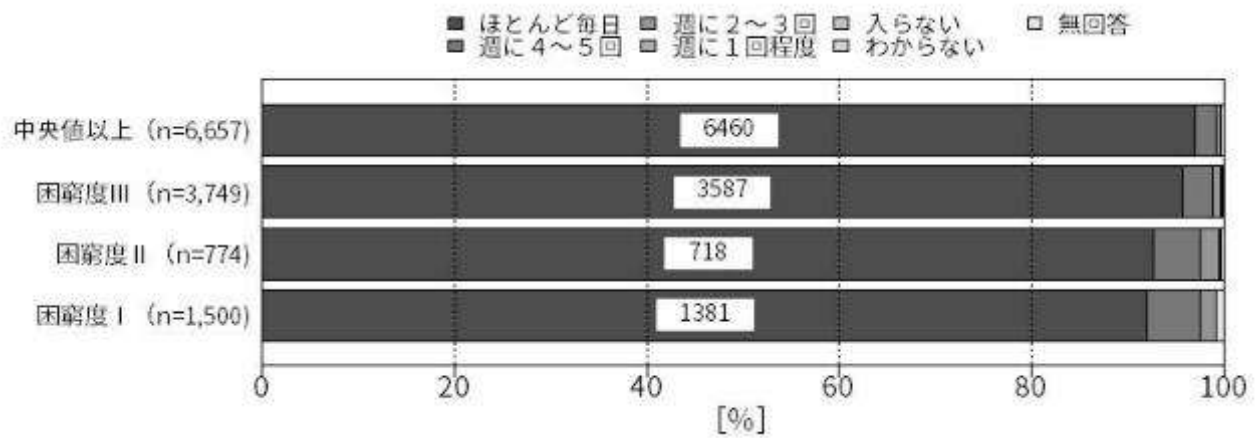


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度によって、大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

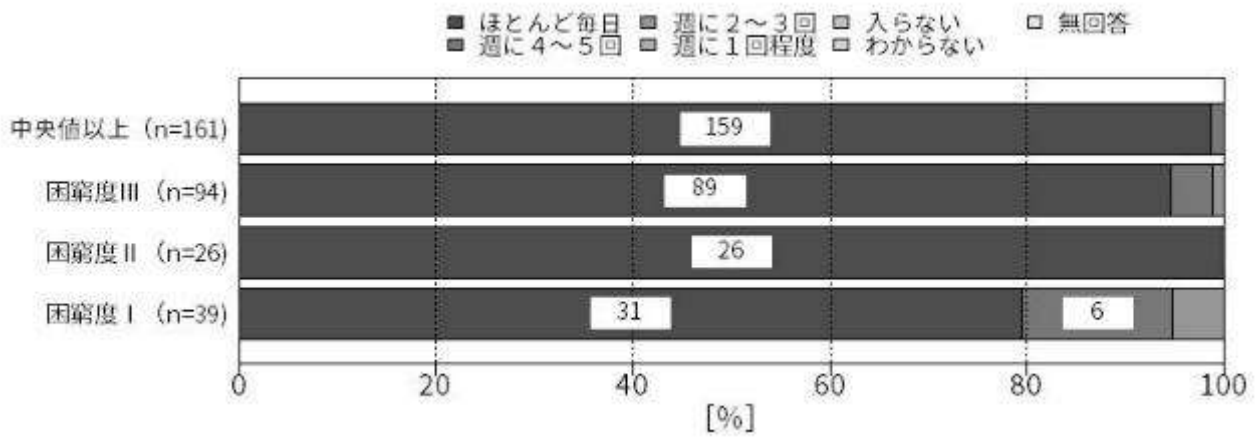
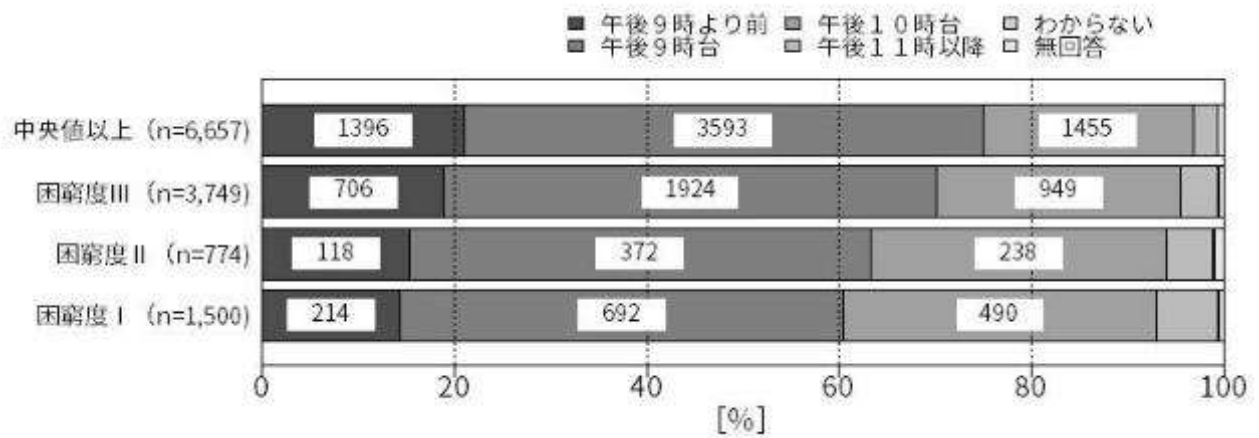


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては79.5%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

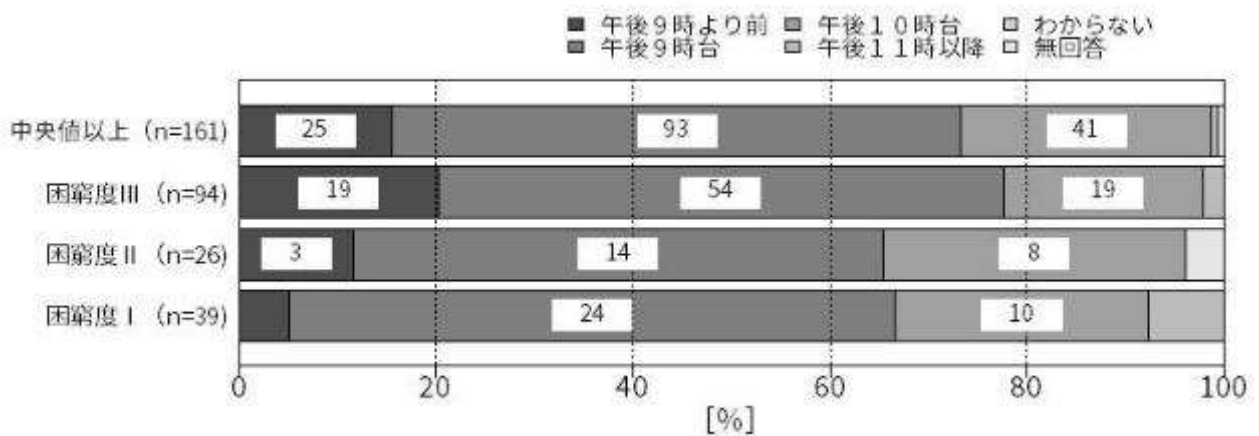
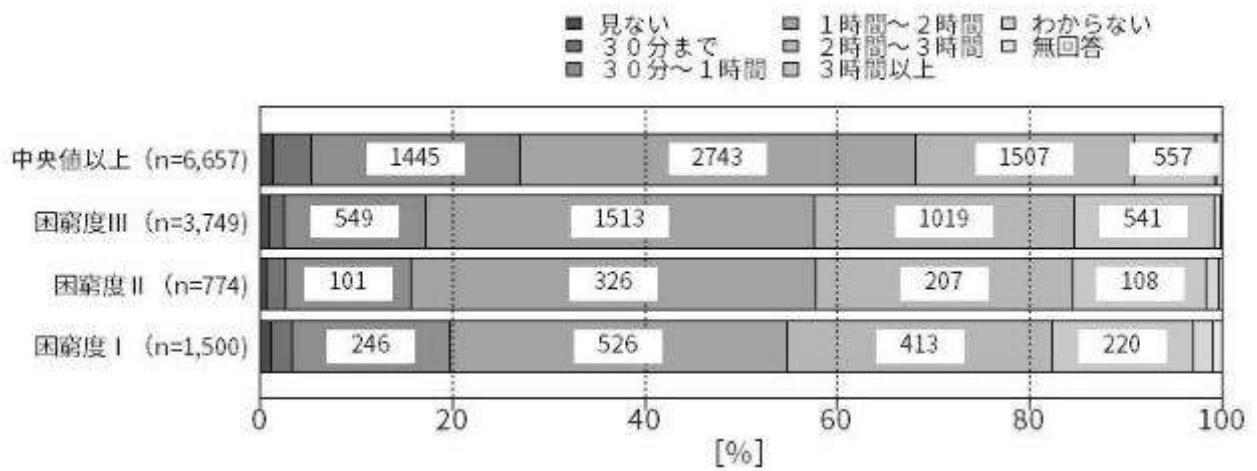


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。、困窮度Ⅰ群においては午後10時台と回答した割合がやや高く、25.6%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

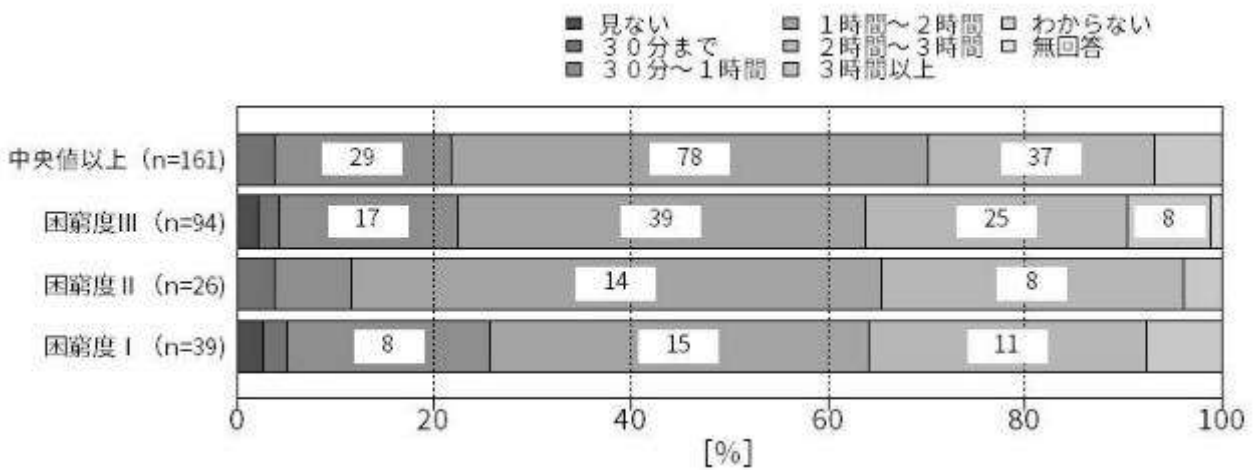
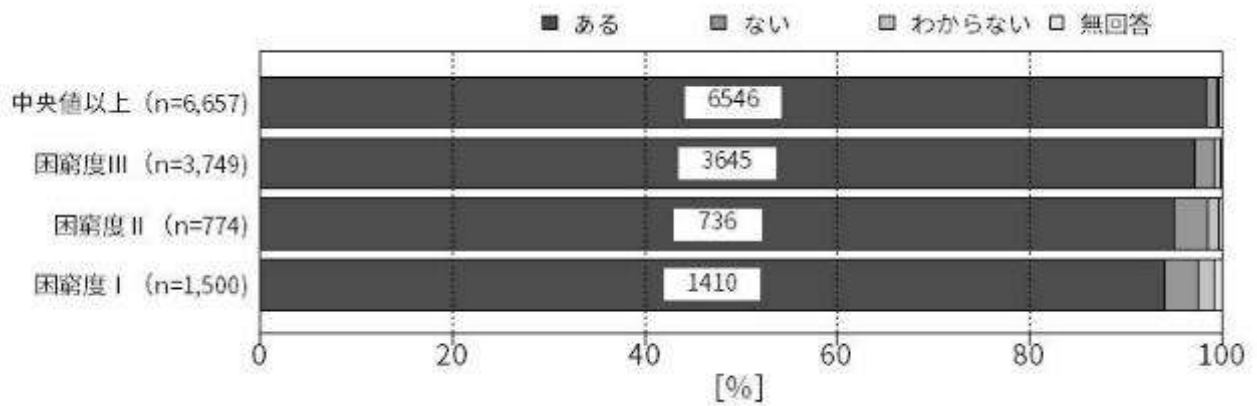


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」～「1時間～2時間」の回答を選択した割合が高く、約 7 割となっている。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

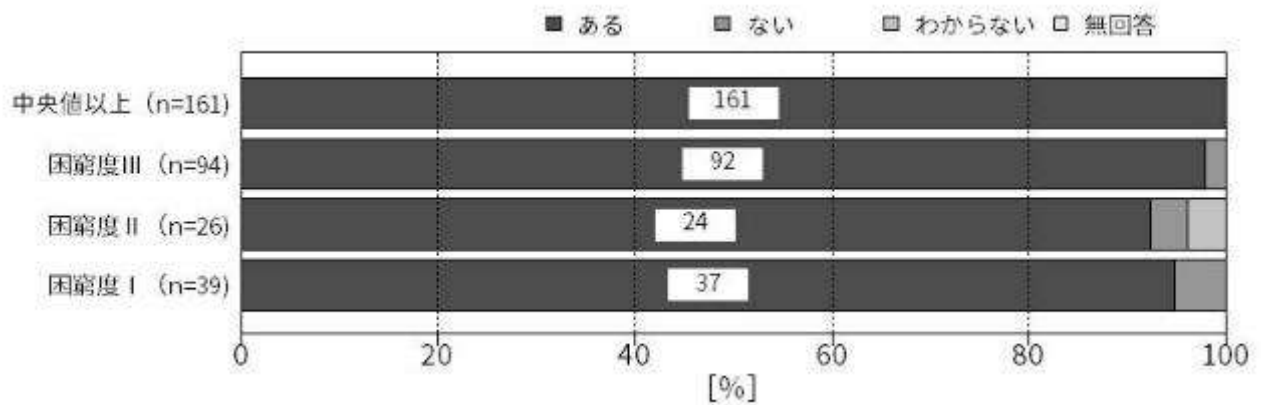
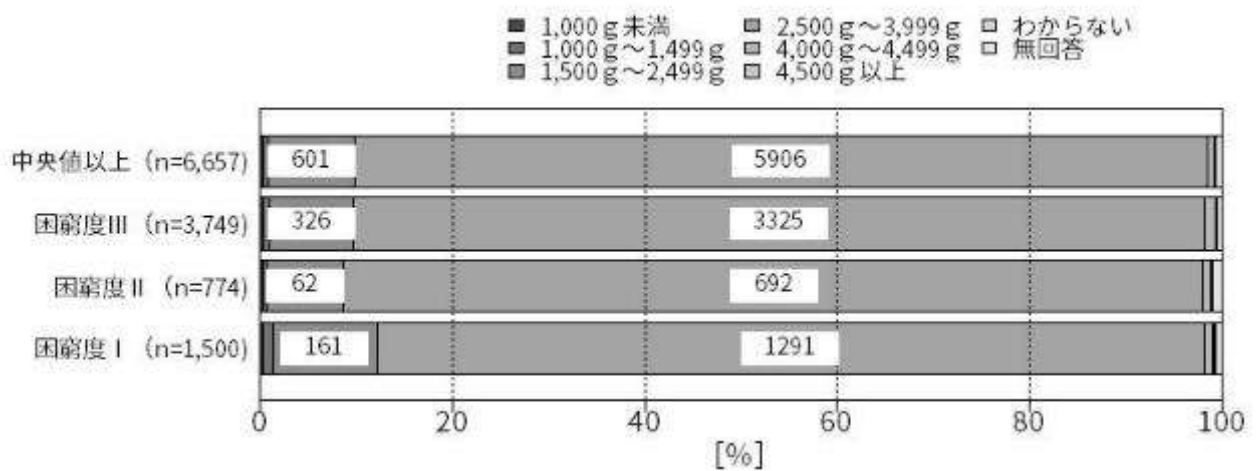


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

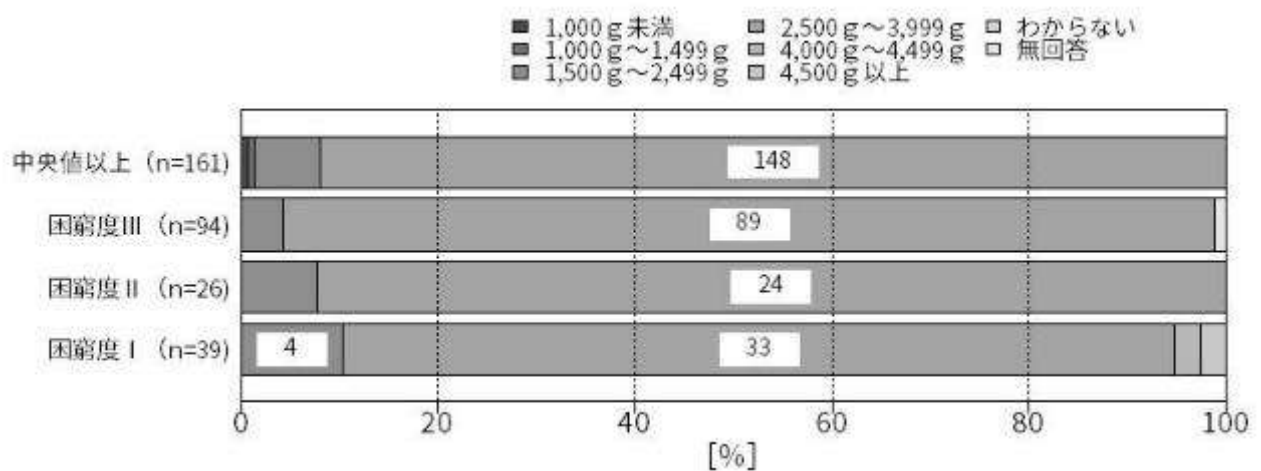
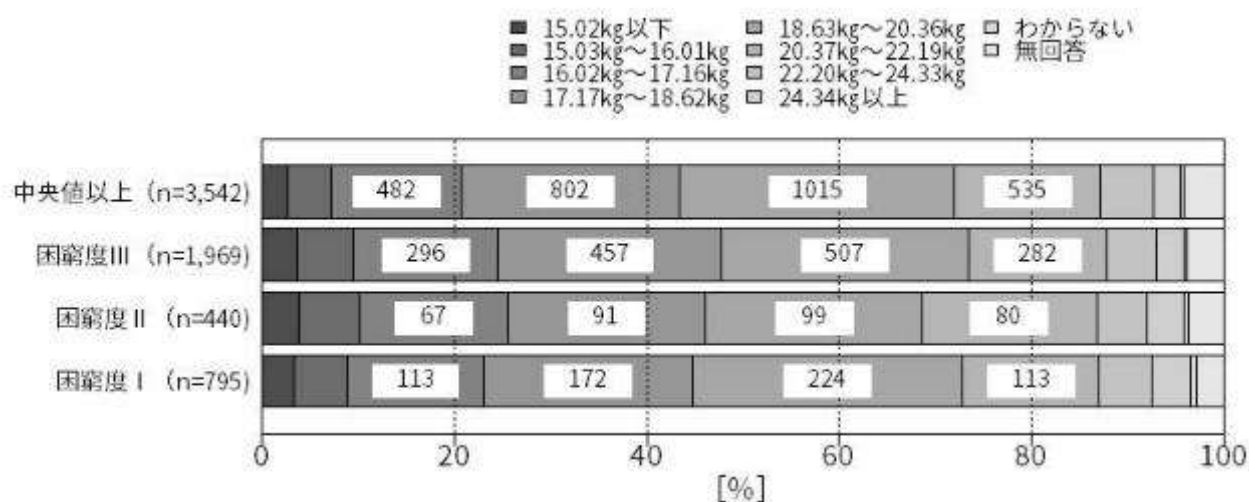


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,000 g ～ 1,499 g」「1,500 g ～ 2,499 g」と回答した割合は合計 10.3%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

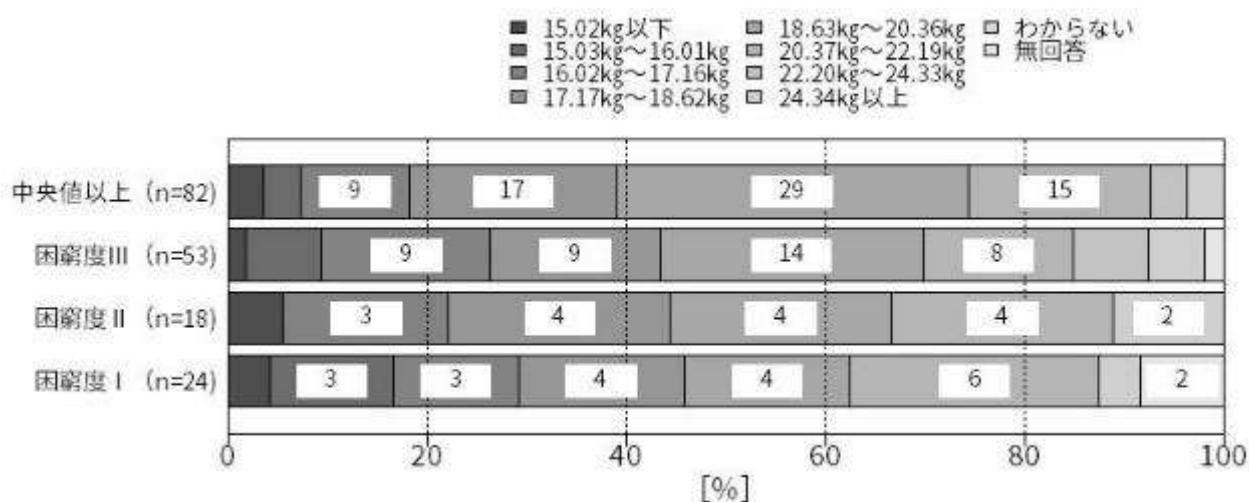
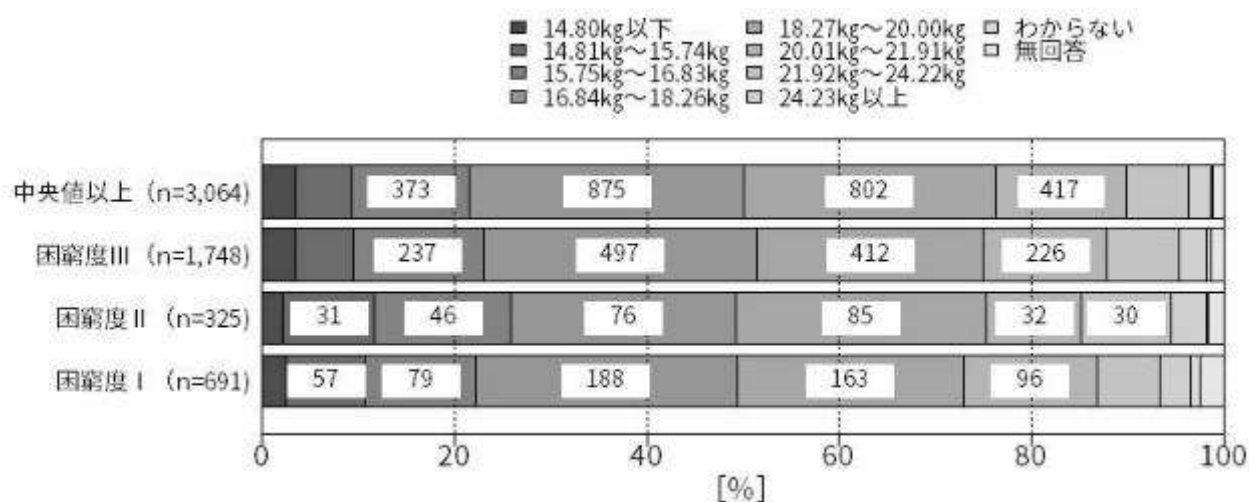


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度と現在の体重（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

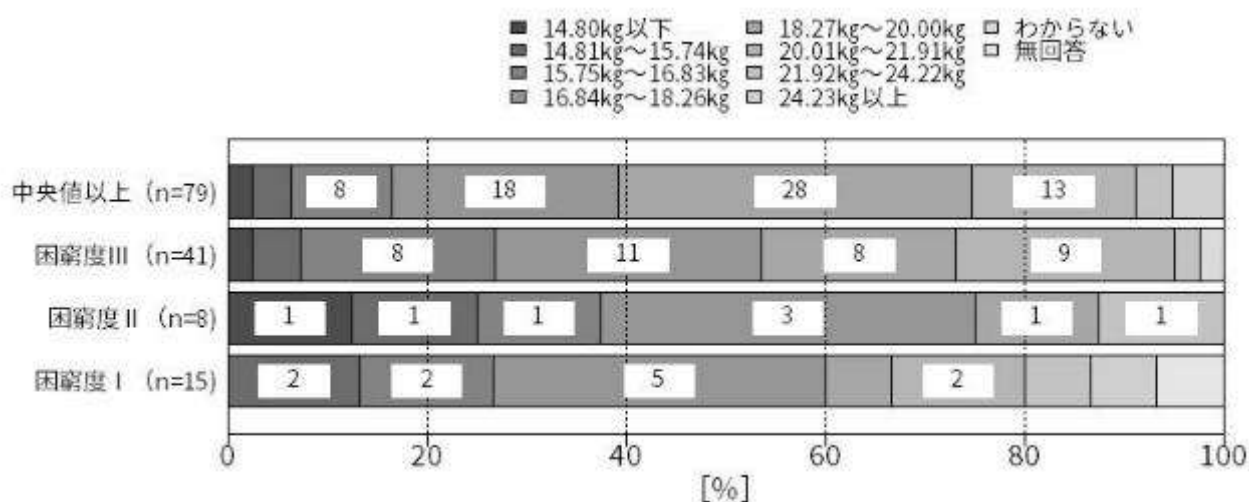
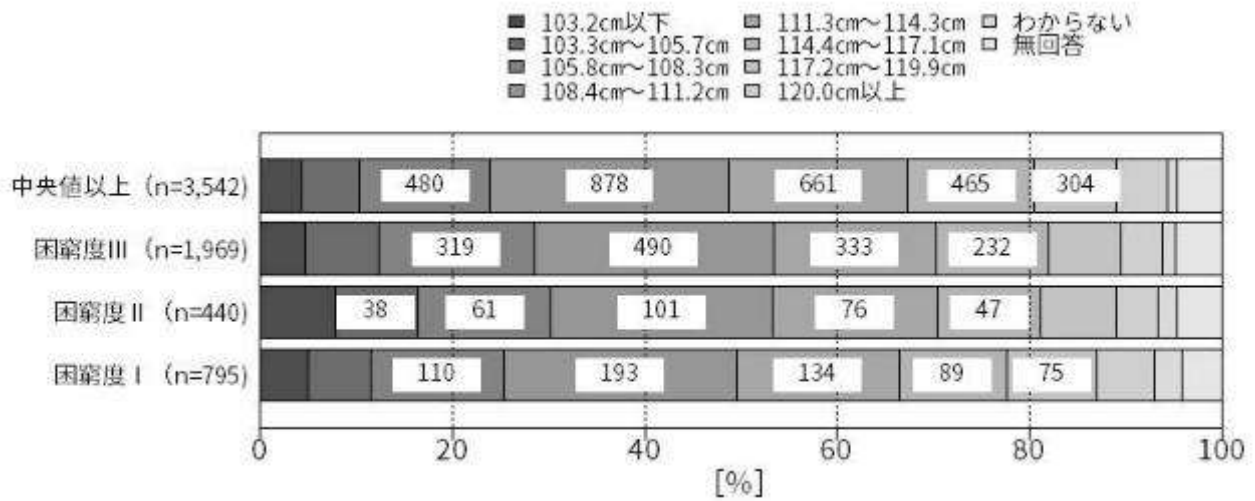


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

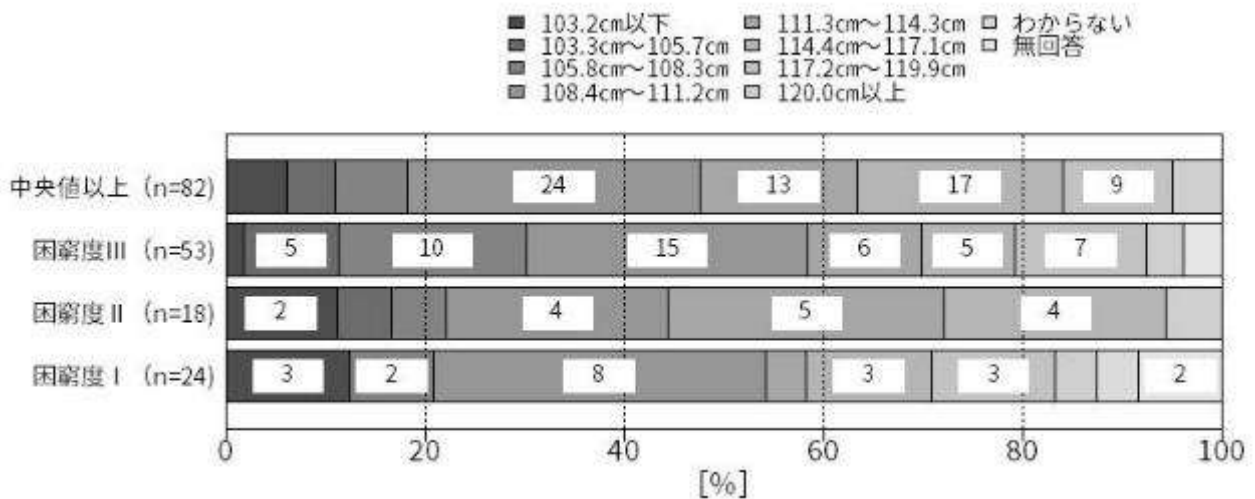
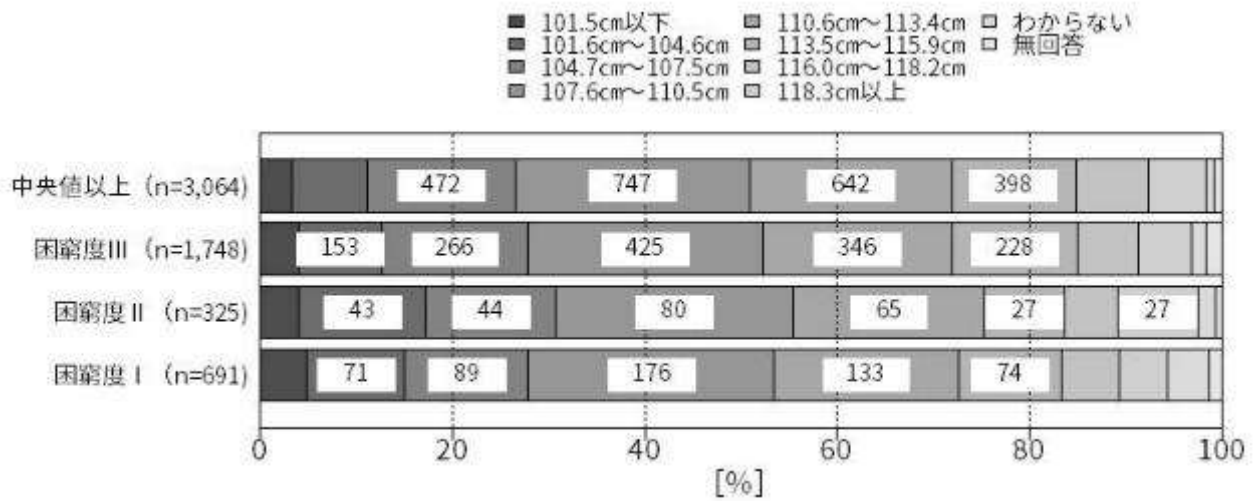


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い男子の割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市東成区＞

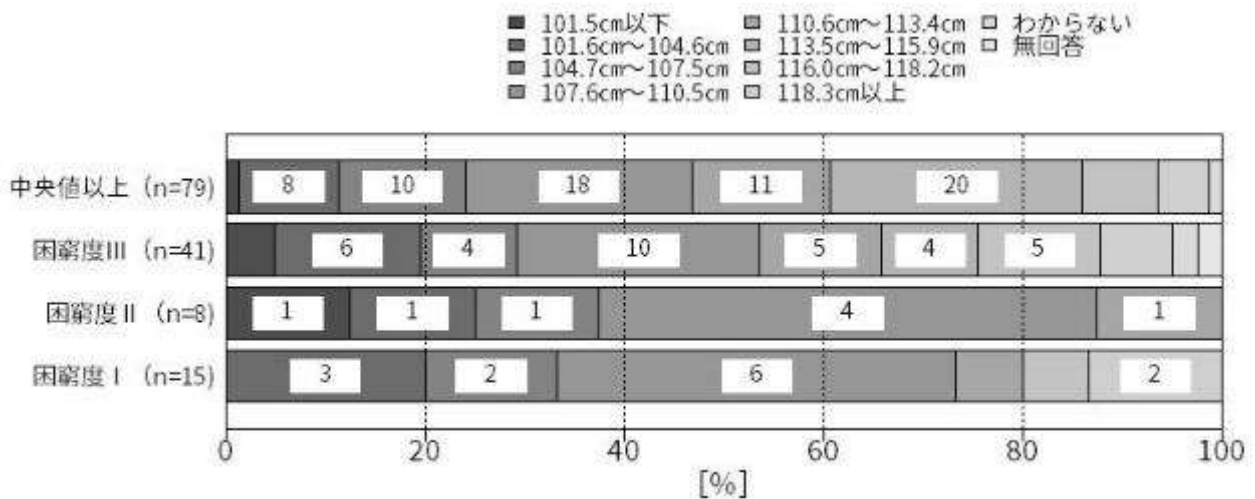
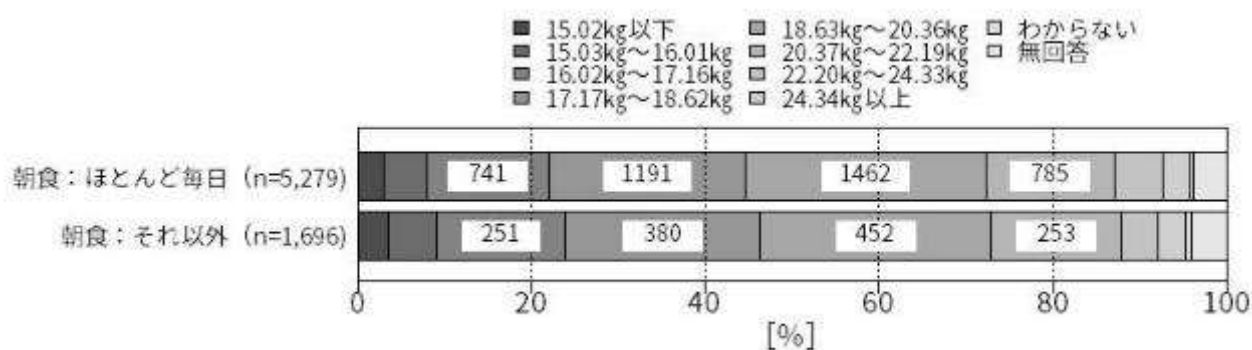


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市東成区>

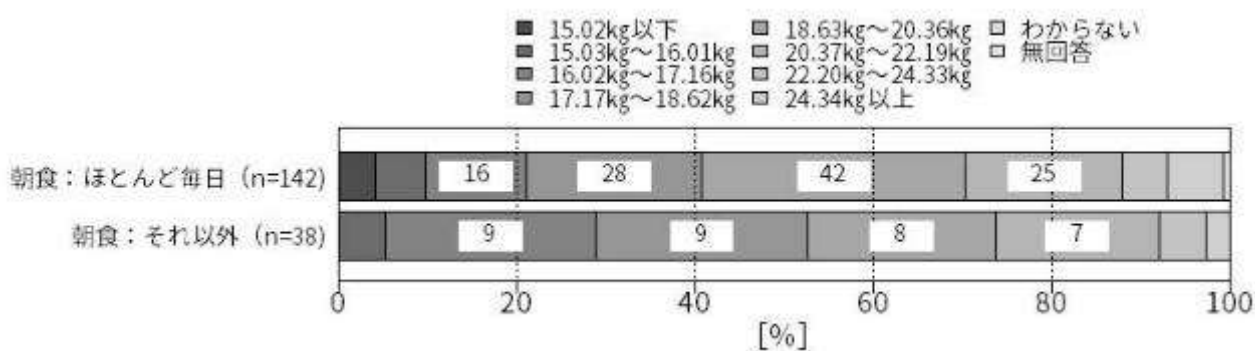


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度によって大きな差は見られなかった。